基本計画書

				基	5		7	本		Ī	t		画	Ī
事			項			記			入			欄		備考
計	画	の区	分	学语	部の設置									
フ =n		リ ガ			ウホウジ			/						
設フ		ガ ガ	者ナ		交法人 オリョウカ									
大			称					iversity	of Med:	ical Scier	ice)			
大	学习	本部の位	置	岐	阜県関市	市平賀字	長峰79	5 – 1						
大	: 学	の目	的	及び学 する科	校教育法 学分野の	に基づき 教育研究	、人間の で、人間の	の尊重を基	基本とし 4の向上	て豊かな/ :に寄与する	人間性	の涵養と傷	教育基本法 R健医療に関 ば社会におい	
新	· 設学	さ部等の目	的	げてい う、高 学部及	・学は建学の精神の下に、「人間性」、「国際性」、「学際性」の3つを教育目的に掲 「ている。 建学の精神及びこの教育目的の下に、 臨床現場で主体的に活躍できる は、高い倫理観と専門性並びに国際感覚を持つ薬剤師を育成する。また、既設の保健科 ・部及び看護学部との連携によるチーム医療教育を充実させ、薬剤師の多様化に対応で ・る人材の養成を目指す。									
	新 設	学部等の		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位に		開設時期及び開設年後		所ィ	王 地	
新				年	人	年次	人		,	年月第年次	1			†
設学部等の概要	薬学科	ulty of Phar 타 artment of	macy]	6	100	人 -	600	学士(薬 (Bache of Pharmac	elor	令和2年4月 第1年次		阜県可児市	7虹ケ丘4-3-	
変	定員の	置者内におけ 更 状 の移行,名称 更 等 設学部等の名	況 ドの)	核当な	載義	開設す		4目の総数 実験・実習		計		卒業要件	単位数	
課程		薬学部薬学科	4		103科目	2	7科目	14科		144科目			186.5単位	
		学部等	争 の :	名 移	ĸ		教授	准教授	専行 講師	£教員等 助教	計	助手	兼 任 教員等	
教	新	薬学部 薬	学科				16人	10人	5人	3人	34)	3人	54人	1
員	設			計			(15) 16人	10人	(3) 5人	(3)	34)	3人	(15)	=
組	分	Im take at 100 c	min 1				(15) 7人	(10) 5人	(3) 2人	(3)	(31)		(-)	
織	既	保健科学部	臨床検	(査学科	斗		(7)	(5)	(2)	(3)	(17) (3)	(54)	_
Ø	設		放射線	技術	学科		9人 (9)	6人 (6)	3人 (3)	0人 (0)	18 <i>)</i> (18		52人 (52)	
概	дX	看護学部	看護学	:科			11人 (11)	5人 (5)	11人 (11)	9人 (9)	36 <i>)</i> (36)		78人 (78)	
要	分			計			27人 (27)	16人 (16)	16人 (16)	12人	71)	6人	(-)	1
		<u></u>		+			43人	26人	21人	15人	105,	人 9人	_	=
		職	種				(42) 専	(26) 任	(19)	(15) 兼 任	(102	2) (8)	(一)	
教員		事	務	職	į	į		25人 (25)		9人 (9)			(34)	<u> </u>
以外			術	職	Ē	1		0人		2人			2人	†
の職			館専	-				(0)		(2)			(2) 5人	+
員								(4) 3人		(1) 0人			(5) 3人	1
の概		そ の	他	の	職	1		(3)		(0)			(3)	
要			計					32人 (32)		12人 (12)			14人 (44)	
		区	分		専	用	共	用		共用する他 学校等の専			計	借用面積: 147, 459. 83㎡ 借用期間: 60年
校		校舎敷	地			516. 54m ²		_	m²	_	m²	11	65, 616. 54m ²	
地		運動場用	地		15, 5 (15, 56	64. 00 m² 64. 00 m²)		_	m²	_	m²		5, 616. 54㎡) 15, 564. 00㎡ 5, 564. 00㎡)	
		小	計			.80. 54 m² 80. 54 m²)		_	m²	_	m²	(8	81, 180. 54㎡ 31, 180. 54㎡)	
等	等 その他 (146, 371. 06㎡ (146, 371. 06㎡)			_	m²	_	m²]	46, 371. 06 m ²					
		合計		+	227, 5	51. 60 m²		_	m²	_	m²	2	27, 551. 60 m²	
		ыні			(227, 55)	51.60 m²)					411	(22	7, 551. 60 m²)	

				専	用	共	用		用する 校等の			計	借用面積: 12,809.84㎡ 借用期間: 60年
		校 舎		32, 5	514. 60 m²		— m²			— n	1	32, 514. 60 m ²	
		-# 24 -4-		(32, 514		(— m²)	(-	m²)		514. 60 m²)	
粉行	玄等	講義室		演習	至	実験	美習室	情報:	処埋写	全習施設 4章		学習施設 1室	大学全体
47.5	土寸		36室		16室	h 41.	54室	(補助	助職員	-人)	(補助耶	選員 一人)	八十主件
由	i 仁	教 員 研 究	会	新 設	学部等の	名称				室	数	30 室	
-4	- 11	秋 黄 奶 儿	±	図書	薬学部	薬学科 雑誌						(30 室)	
図	新記	没学部等の名称	[5]	ムョ ち外国書〕 冊	〔うちタ		電子ジャー	ナル	視聴覚	意資料 相 点	機械・器具 点	標本点	
書・		薬学部	4, 30	5 [400]		38 (8)	7 (60	4, 255	0	
設備		薬学科		50 [250])	(38 [(7 [7]		(20		(4, 251)	(0)	
VHI		計		5 (400)		38 [8]	7 ((0)	60	4, 255	0 (0)	
			(3, 45	50〔250〕) 面積	(38 [((8,	(7〔7〕 閲覧座席		(20	収	(4,251) 納 可 能		
	[図書館			2, 176. 73	m²) W) L) L) I) I		252席		7114	170,000冊	
					, 176. 73 n	² 1)			52席)			(170, 000∰)	大学全体
		壮 本始		面積	1 700 00	m²	体育 テニスコー	,	·	ポーツカ	施設の概要	w R	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	1	体育館			1, 783. 08 , 783. 08 n		アニスコー 屋外バスケッド	,			体育室2音	1) 座	
	Т	区分	.	開設前年度		_		年次	第4	年次	第5年次	第6年次	研究費は職位別のため、教授分を
	経	教員1人当り研	F究費等		600千	円 60	0千円 60	0千円	600)千円	600千円	600千円	 記載 図書購入費にはデータベース検索
経費	00	見 共 同 研 究	費等		0千	円	0千円	0千円	()千円	0千円	0千円	費用も含む
見積及び	り性						4千円 17,38				18,915千円	19,690千円	
持方の概	法			992, 243千円 1 年次			27,00	0千円 第4年		0千円 : 第 5	32,000千円	32,000千円 第6年次	
V 1196	- 34	学生1人当り 納付金		150千円	第2年次 1,950千	_	3 年次 950千円	男 4 4 1, 950			50千円	1,950千円	
		学生納付金以外						生収入等		1, 0	00 1111	1,000 1 1 1	
	大	学 の 名	称 岐阜	足療科学力	六学								
	学音	部等の名	称年		編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定紹	員率	開設 年度	所	在 地	
				年人	年次	人	(9.5).73	X.E.	倍	1/2			
	保健	科学部			人			1	1. 08		岐阜県関下 字長峰795		
	臨	床検査学科	4	90	_	350	学士		. 06	平成18			平成29年4月入学定員増(10名)
	放射	射線技術学科	4	90	_	350	(保健学) 学士		. 11	年度 平成18	3		平成29年4月入学定員増(10名)
							(保健学)			年度			五字00年4月曹佐信司
- France	有;	護学科	4	_	_	_	学士 (看護学)	1	1. 17	平成18 年度			平成30年4月募集停止
既設大	看護	学部						1	1. 10		同上		
学	看記	護学科	4	100	_	200	学士	1	1. 10	平成30)		平成30年4月開設
等の		院保健医療学研究					(看護学)			年度	同上		
状況	八子	元本唑达尔子研究	1°T										
()L	保任	健医療学専攻	2	9	_	18	修士 (保健医療学). 71	平成28 年度	3		
	大	学 の 名	称中日	日本自動車短	期大学			•					
	学音	部等の名	称年		編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定恕	員過率	開設 年度	所	在 地	
1				年 人	年次	人	144小 ゲ	炟	倍	十尺		 支郡坂祝町深	†
	白動	車工学科	2	200	_ 人	400	短期大学士). 82	昭和42	萱1301		
1							(自動車工学)		年度			
	t-9-7 学科	スホ゜ーツエンシ゛ニアリンク゛	3	30	_	110	短期大学士 (自動車工学). 99	平成21 年度			平成30年度入学定員減(10名)
	<u> </u>			: 薬草園							1		
	附属	施設の概要	目 的 所在地 設置年]:薬学部に 1:岐阜県可 5月:平成32 5:330㎡	児市虹ケ	£:4−3−3	の資料とす	る。					
(注)			<u> </u>										l .

- (注)

 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。

 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとすること。

 3 私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。

 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。

 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

 6 空欄には、「一」又は「該当なし」と記入すること。

(用紙 日本工業規格A4縦型)

特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別	€規格Α4縦型		<u>(用紙</u> 要		概		の			等		程		課	教育	学科)	全部薬:	(薬
### 1	/+++v		Вh				劫	実			ń		.iv.	geng sila di cod				V/N
おおける	備考					教		実						配当年次	授業科目の名称	€分	科目区	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	シニバス シニバス シニバス・共同 一部)	兼1 兼2 兼1			1	4	1		0	000			1 1 1 1	1前 1前 1前 1前 1後	物理学 生物学 数学 情報処理 統計学	然 科		
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		兼2 兼1 兼1 兼1 兼1			1		1		0	000		0. 5 1	0. 5 0. 5	2後 3後 1後 1前 2前	コミュニケーション・ワークショップ演習 I コミュニケーション・ワークショップ演習 II アカデミック 技法 ボランティア 技法 手話技法 心理学	ヨミンユニ	会・人	学
P		兼1 兼1								0		1 1		2前 2前	経済学 法学	会	科	備科
英語日 英語日 英語日 英語日 医療会話目 神園語 神園語 中国語 神園語 中型目 本本 事項 基本 中国名 華田公司 東学園 中国名 東学園 新聞記規則 東子田校記規則 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大								0					1			ポ康		
要学 機論 1前 1.5 ○ ○ 4 2 □	1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			1 1 1	1			0	000 000		1 1	1 1 1 1	1後 21後 2後後 3前後 16 16 2後	英語 I 英語 II 英語 II 英会話 I 英会話 I 英名話 II ドイツ語 韓国語 ボルトガル語 中国語	玉		
世界の	ムニバス・共同 一部)※演習		1	1	2				_	0	0	10. 5		_	小計 (30科目)			
東学基礎セミナー 1後 1.5	- 市)	兼4 兼1 兼1 兼4				3	3			000			1.5 1.5 1 1	1前 1後 1前 1前 1後	倫理学 生命倫理学 医学概論 薬学入門 医療コミュニケーション I	本 事		学基
大学 物理化学 1	シニバス・共同 一部) シニバス シニバス シニバス	兼1 兼1 兼3 兼8			1	1 1	3			0000		1	1. 5 1. 5 1. 5 1. 5	3後 4前 3前 2前 6前	薬事関係法規 I 薬事関係法規 II 医療経済・制度論 地域診療薬学 薬局経営論 実践社会薬学	学 と 社		本科
無機化学 I 1後 1.5	ムニバス ムニバス・共同 一部) ムニバス			1	1	5	1 1 1 1 1 2	0		000	0	1	1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5	1後 2前 1後 2前 3前 2後	物理化学 I 物理化学 II 分析化学 I 分析化学 I 機器分析化学 物理系実習	学基礎(物		
機能形態学 II 1後 1.5 ○	引 ムニバス・共同 部)※演習 管習 引 ムニバス・共同 を習 引 ムニバス・共同			1 1 1		1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	000000 000			1 1.5 1.5 1.5 1.5 1 1.5 1 1.5 1.5 1.5 1.	1後 2 2 3 3 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 1 8 9 1 8 9 1 8 1 8	無機化学 有機化学 I 有機化学 II 有機化学 II 有機化学 IV 生体有機化学 生存機造解析学 化学系 実 掌 化学系 実 掌 医素 學 資 と 薬 学 天 然 物 薬 品 化学 薬 財 社 等 と 薬 学 生 薬 学 食 習 生 薬 学 質 習 生 薬 学 変 習 生 薬 学 変 習 生 薬 学 変 習 生 薬 学 変 習 生 薬 学 要 ご ろ と の で き 変 き と で き 変 当 で き 変 き と で き を と で き を と で き を と で き と と で き と で と で き と で き と で き と で と で き と で と で き と で と で と で き と で と で と で き と で と で と で と で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で	学基礎(化		学専門基礎科
小計(34科目) — 45.5 0 0 — 7 4 1 3 3	ムニバス ムニバス ムニバス ムニバス ムニバス ムニバス ムニバス・共同 ムニバス・共同				1	1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 2 1 1 1 1 3 3	0	0	000000000			1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5	1後前後前後後前前後後 201 201 201 201 201 201 201 201 201 201	機能形態学Ⅱ 機能形態学Ⅲ 生化学Ⅱ 生化学Ⅱ 分子生物学 細胞生物学Ⅰ 微生物学Ⅰ 免疫学Ⅱ 免疫学Ⅱ 生物系薬習 生物系薬学演習	学基礎(生		

(用紙 日本工業規格A4縦型)

(薬学	学部薬学科)	教	育	課		程		等			の		概		(用組	、 114 要	★工業規格A4縦型)
	科目区分	授業科	目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	授業形態 演習	実験・実習	教授	専任	教員等の講師	助教	助手		備考
	衛生薬学	公衆衛生学 食衛生学と健康 衛生化学Ⅱ 衛生生系薬学 衛生生系薬学 サプリメント		2後 2後 3 3 3 4 6 6 6	1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5	1.5		0000	0	0	1 1 1 1 1 1	1	1 1 1		1	兼1 兼1	オムニバス オムニバス オムニバス 共同 オムニバス
•		薬理学 I 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅲ 薬理系実習 薬理系薬学演習		2前 2後 3前 3前 3後	1. 5 1. 5 1. 5 1. 1			0 0 0	0	0	1 1 1 1	1 1 1	1 1 1		1		オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス・共同 (一部) オムニバス
		東東 東東 東東 東東 東東 東東 東東 東東 東東 東東		2 2 3 3 4 6 4 6 2 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 3 6 6 6 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 7 8 8 8 8 7 8 8 8 8 8 7 8	1. 5 1. 5 1 1 1. 5 1. 5			0 0	0	0	1	1 1 1 1 1 1	1		2 1		オムニバス・共同 (一部)※演習
	医療薬	病態素薬物物治治治療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療療	II III IV V 液習	3前後後前前前後後後 4444 483 33	1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5			000000 00	0		1 3 1 3 1 1 3 1	1 2 1 1 3 1 2	1				オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
薬学専門科	学	臨床統計解系 に床統計解系 医療剤学計 服療・原体 原体 原体 原体 原体 原体 原体 原体 原体 原体	演習	3433646前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前	1. 5 1 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5 1. 5			0 0000000	0		1 1 3 2	2 2 2 1				兼1 兼1	オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
目		臨床檢查医学総病態情報演 病態情報所對 極於 所 所 所 的 所 的 所 的 所 的 一 統 所 的 一 統 所 的 一 統 一 統 一 統 一 統 一 統 一 一 一 一 一 一 一 一 一	<u>\$</u>	3後 4前 6前 6前 6前 6前	1.5 1 1	1 1 1 1		0000	0		1 2	2				兼1 兼1 兼1 兼1	※演習オムニバス
		地域健康サポー 医薬品副作用学		4前 6前	1	1.5		0	0		2					兼1 兼1	(一部)
	薬	早期体験学習 救急処置法 フィジカルアセ フィジカル 医療演習 実務実習プレ教 実務実習プレ教	スメント論 スメント演習 育 I	1前 1前前 3 3 6前 4前 4後	1 1 1 1 1 3			00	0 0000		3 1 3 3 2 4 4	2 2 2 1 2 2	1 1 1			兼9	共同※実習 オムニバス 共同 オムニバス・共同 (一部)※集中 オムニバス・共同 (一部) 共同
	薬学臨床	薬局実務実習 病院、薬学・ 演域 在宅事薬学学特論 総合薬学等特論 総合薬学等特論 総合薬学等論	薬学演習	5通通 前 後前前前前前 666666666666666666666666666666	10 10 1 1.5	1		00000	0 0	00	4 4 3 7 1 5 3	2 2 2 1 1 1 1 3 2	1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼1	オムニバス・共同 (一部) 共同 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
•	研薬 究学	総合薬学特論 V 特別研究 I 特別研究 Ⅲ		6後 4通 5通	1.5 2 2			0		0	11 13 13	2 2					オムニバス
-		特別研究Ⅲ 小計 (65科目)		6通 —	2 97. 5		0		_	0	13 15	2 8	4	1	3	兼24	
		合計 (144科目)	200 I (=#			19. 5	0	(~ () m			16	10	5	3	3	兼54	
	学位又は		学士(薬					トの分里						楽	学関係		*
ション:). 5単位	2.0単位・健康 2・薬学と社会	業 要 逐科目177.0単位((とスポーツ1.0単位・ 8.5単位)、(薬学専	・外国語6.0単位) 専門基礎科目45.51	、 (薬学基)単位/薬学基	本科目1 礎(物	8. 0単位 理) 9.	コミュ 江/基本 5単位、	事項 薬学	法	1学年	の学期	別区分			/ 授弟	芝期間 等	2期
基礎 (立・医 選択科 2.0単位	化学)18.0単位 療薬学44.5単位 目9.5単位以上	在·薬学基礎(生物) 在·薬学臨床39.0単位 ((薬学準備科目5. 2.0単位以上)、(薬	18.0単位)、(立・薬学研究6.0単 5単位以上/コミ	薬学専門科目 位))、 ュニケーショ	97.5単 ン1.5単	位/衛	生薬学8 :・社会	8.0単 :科学		1学期	別の授業	 単期間					15週
	修侍すること。 科目の上限:46単位(年間))						1時限の授業時間				90分						

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	目	Ø	概	要	
(Ж.)	科目 区分	授業科目の	名称			講義等の	内容		備考
		化学		性才化には、原本のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	ある化合 かの たい 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大の 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が 大が	構造が理解 ど各化学結合して、一般化 5回) な化学の基礎元 たる。さらに生生 いた。 論理性原子も 論なりに生体 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	できるように言う、反応速度 一学や有機化 力を身について 体内の反応 学専門基礎 ・子・イオン)	の理解など、薬の活 構義する。加えて、イ やエネルギーなどの 学のスムーズな理解 するために熱化学・化 解説して、化学的な と関連する触媒反応 半目を学ぶ上で必須 の基本理念・化学結 可応を理解する上で	ナルーバスちず
		物理学		大変重要な 目の学習の エネルギー ついて講義 て、研究の ども示しな	な役割を担う。 つための基礎 ・、波(光)を をする。それら 歴史にも触れ	本科目は、東 力修得を目的 取り上げ、関連 のの学習内容で いつつ概説す が薬学を含め	医学の専門科 ひとする。物理 国とする基本法 を基盤とする る。各種診断	学習には物理学も ・目、特に物理系科 ・学のうち、主に力、 則や各種物理量に 原子の構造につい 下技術への応用例な にどのように関係し	
薬学準備	自然科	生物学		るのかを物 から解説す 発生、進化 が修得でき の概説を行	質レベルといる。生体の形といる。生体の形といった生態 といった生態 るように講義 行い、今後学	いう観点および が態と機能、栄 焦に関する基本 まする。また、神 ぶ生化学、分	送養、遺伝、恒 を養、遺伝、恒 本的な事項に 申経系、免疫 子生物学、網	ニズムで行われてい という巨視的な観点 豆常性、細胞分裂、 こついで確かな知識 このいで強変を 記染症、 部など 田胞生物を が理解できるように	
科目	学	数学		現など、数: 理解を関数 指義する。 解説した後 分方程式の	学を用いる分 うるために、数 対数関数、 微分積分は、偏微分法、 の解法も紹介	分野が薬学に 対学的素養を 三角関数を解 、極限、級数、 、2重積分につ	ま多く存在す 養うことを目指 説したのち、 種々の微分 いて講義す 統計学の準	命現象の数学的表る。それらの分野の言す。具体的には、 億分積分について 活な、では、簡単な数 をある。また、簡単な数 備として、場合の数 でも解説する。	
		情報処理	#	分実療場は、48学用のでは、1000年の	ける情報解の収作した。 おまとし情報型1 大きなをできまります。 おまたが、5計では、10回り、10回り、10回のない。 はいまでは、10回のない。	集、情報処理 ながら講義さ 青報リテラシー 理の知識や打 5回) 年の操作がで援生生活や医援する。 最告や発表のいて講義す	は、情報の整ける。これには の獲得を目 を放きでである。 は、計算ソフ医 でである。 は、計算のである。 は、計算のである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	トの基本操作やその 療人に必要と考えら 容易にできるように専 ぶ学生として将来に や、報告書やレポー	オムニバス方式
		統計学		講義する。 始めて、確 学としては、 る。推測統	大きな流れる 率理論をベ 、平均、分散 計学としては fr、F分布を解	しては、デーースにした推測、標準偏差、 、離散型の23	夕整理として 則統計学を解 共分散、相関 項分布、連続	E法の基礎について の記述統計学から 認する。記述統計 1係数等を講義す 程型の正規分布、χ ² 引推定、種々の検定	

(薬学	部薬学	子 籽()	授	業	科	目	D	概	要				
(**)	和来 科目 区分	1	授業科目の	の名称			講義等0	の内容		備考			
		自然科学	薬学基礎	実習	を機のを付いていている。 では、 一年 では、 日本 では、 一年 では、 日本 では	(オムニバス方式/全23回) (10 野下俊朗・19 萬代大樹・26 小縣綾/5回) (共同) 有機化合物や溶媒、実験器具の安全な取り扱い方を修得し、安全に実験ができるように実習する。また、有機化合物の抽出方法および常圧蒸留操作を学び、有機化学の基礎的な手法を実習する。 (4 金子葉子・14 小畑孝二/3回) (共同) 人体模型を用いて各種臓器の位置や形、機能などを講義して、実際に観察させる。 (2 伊藤哲朗・27 深谷匡/6回) (共同) 生薬材料を用いて顕微鏡装置の使い方とプレパラートの作成方法について解説し、観察の方法等を実習する。 (4 金子葉子・11 松原守・13 岩城壮一郎/6回) (共同) 生物系実験で汎用されるマイクロビペットの機作法と検定法を実習する。また、タンパク質の基本的な分離法と定量法を講義して、実習す							
薬学準備科目			アカデミック基础	遊セミナー	ることが必 プレゼンテ る。本セミ の情報を負 ション(SG 地域に有)	要になってく ーションスキ ナーでは、学 集めて課題や (D)を行い検	る。また、学生 ルは薬剤師だ 生が地域にあ 解決方法など 討する。これに を発表する。	E自身の学会 が活躍するに ある問題から ごをスモール により、発展性	などを通して交流す 発表なども含めて、 は必須の技術であ テーマを選び、それの グループディスカッ 生のある解決方法や この一連の活動を	共同			
	社会・人文科学	コミュニケーション	コミュニケーション・演習」		マケケキを大きでは、一下では、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またので	ーションをからいた。 ・ロステントでは、アンテンドでは、アンドでは、アンドでは	上させている。というというといっというといった。というといった。というといった。というというというというというというというというというというというというというと	ったア党に対しています。 かったアウン・ス・マン・ス・マン・ス・マン・ス・マン・ス・マン・ス・マン・ス・マン・ス・	いいは演技者と呼ばれた。 アターゲムと呼ばない。 大会に、いろなかである。 を使って言語のをや、して言語のをできまり、 を使って言語のをや、しているではない。 ままり、 まや、おとアをでしているでは、 は、このでは、 に、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オムニバス方式			

(薬学	部薬学	学科)	授業	科 目 の 概 要	
(XC)	科目区分	1	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			コミュニケーション・ワークショップ 演習 I I	コミュニケーション・ワークショップ演習 I では、シアターゲーム等を通して、コミュニケーション能力を高める基礎的な演習を行った。本演習では、これを基礎として、更にコミュニケーション能力を高める演習を行う。具体的には、在宅医療で活躍する薬剤師をデーマに、在宅医療で家族に寄り添う薬剤師とそれを受ける家族について、ハグループで家庭に満り働き作成し、発表する。これにより、今後、実際に遭遇すると思われる医療現場を想定しながら、次のような教育効果を上げることができる。 ①演劇のトレーニングの中で、コミュニケーションの基礎である「相手の自発を開いて、空気を読み、理解し、受け入れる。」「と学ぶ。すなわち、役割の相手や観客に対し、情報を伝えるためにニュアンスを駆使したり、気持ちを込めたり、効果的な身振りをするなど、その効果的な方法を身に付ける。また、受け手は、それらを理解し受け止める力を身に付ける。とから、現実と切り離して感情を解放できる。よれにより、コミュニケーションが苦手な人にある「自分の発育で悪く思われたくない。嫌われたくない。だから、黙っておく。」といった思考から離れ、演劇の中で、自分の感情を出す、相手の感情を受け入れるといった経験を積むことができる。 (3演劇は一人でなく仲間と一緒に創り上げていくことで、相手の個性を尊重したうえでの協調性やリーダーシップ力を身に付ける。 (4限られた時間の中で、発表に至るという失敗ができない構図の中で、リスクを仲間と共有し、仲間と向き合うことが必然的に必要となって、自発的なコミュニケーション能力を高めることができる。 (イムニバス方式/全8回) (62 衛紀生/1回)本講義の目的、短編演劇創作に関する方法等を解説する。 (78 西川信廣/7回 在宅医療に関わる薬剤師の役割と、患者や家族に寄り添う薬剤師の在り方について、ハグループ単位で発表して、その発表についてSGDで議論した後、全体でも情報を共有する。	オムニバス方式
薬学準備科目	社会・人文科学	コミュニケー ション	アカデミック技法	薬学部における学修内容は多岐にわたり、学ぶ姿勢とそれを継続的に続けるスキルが必要で、「聴く・読む・書・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える」力が必要になる。このため、ノート作成法、情報収集法、文章理解、情報整理、研究発表法、論文・レポート作成法に焦点を当てて講義する。特に、クリティーク・リーディングは、テキストを正確かつ的確に読み、解釈することである。さまざまな文字情報や構造式などの複雑な情報を処理する必要がある薬学生には必要なスキルであることを概説する。これらにより、将来卒業論文や学術論文作成、あるいは医療人となるための基本的な能力を身につけ、大学での学びを効果的に進めることができることを概説する。	
			ボランティア技法	ボランティア活動の種類、参加手段、活動内容、課題について例を示して概説する。またボランティア活動と自己理解、他者理解の人間関係、また現代社会やそこで営まれる生活の仕組み、係わりについて概説し、経験を通しての自己形成及び市民研究の視点で講義する。ボランティア精神の基本である自発性、行動力を身に付けるために、身近なボランティア活動を実践し、より一層の理解に繋げるようにする。	
			手話技法	ろうあ者が使用する「日本手話」と聴者が使用する「日本語対応手話」 の二つの手話が存在する。講義ではこの二つの手話の相違点を明確 に解説しながら、主に「日本手話」について講義する。手話は「日本 語」等と同じで、ろうあ者にとって文化的側面があることを解説する。さ らに、医療現場でどのように活用できるか解説しながら、現場において の実践的な手話会話が修得できるよう講義を進める。	
			心理学	心理学は思考や感情など人間の内的なプロセスや行動について理解するための学問であり、教育や医療、司法などの場でも貢献してきた。近年は、脳画像を用いた研究もおこなわれており、非常に学際性の高い学問といえる。本講義では、心理史、認知、思考と学習、言語、発達、感情と動機づけ、人格、社会心理学をテーマに講義する。これらのテーマについて、これまでに実証されてきた人間の性質について概説する。	
			社会慣習・マナー技法	薬剤師を目指す学生にとって、早期体験学習や薬局・病院での実 薬、就職活動やボランティア活動等において、実際に社会と関わりな がら成長していくことが大切である。このため、社会における様々な場 面で活用できるよう、一般的に使われている社会スキルを学ぶ必要が ある。本講義では、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション の重要性、言葉遣い(敬語、話し方と聞き方、表情、報告の仕方、電 話対応、ビジネス文書などについて講義し、社会との関わり方につい て学ぶ。	

(薬学	2. 密本	授業科目の概要 ^{R薬学科)}							
(X.)		1	授業科目の名称	講義等の内容	備考				
			社会学	社会学とは、人と人との結びつきを通して、社会の特徴や変化をとらえる学問である。医療や福祉活動なども社会学的な視点から見直すと、新たな課題の発見や問題解決の手がかりを見出すことができるのではないかという問題関心を土台として、社会学が着目してきた「人と人の結びつき方(例えば、集団や組織、コミュニケーションなど)の基本的な特性について、子どもの遊びや社会性の形成、仲間集団の形成、校則と生徒の行動、学校組織、家族機能などを通して学ぶ。これらの講義の上で、実際に生じる社会問題に対して、社会学がどのような役割を果たすかについて概説する。					
	社	社会科公	経済学	現代は国内、国外を問わず激しく揺れ動く経済情勢のなかにあり、世界的活動の中での経済状況の把握、分析が必要である。このために過去、現在の経済状況を歴史的に知り、変化のあった各々の時期での経済政策とその効果を概説し、将来の方向性について考察する。本講義では、マクロ経済学の基本、日本経済、市場の原理、ゲーム理論、公共部門の経済学、金融システム、組織と経済学などを概説する。これらの国内外の経済の現状と問題を捉え、経済についての基本的知識を得て、医療部門の経済について思考する医療経済学に繋げるようにする。					
	会・人文科学	学	法学	現代日本の社会構造は複雑であり、家庭や職場での行為が法と係わる。安心かつ安全な社会生活を営むための法知識を概説する。内外の政治、経済、社会の具体的な出来事を通して、法律の仕組みを解説し分析する。生きた法律の理解を目的とし、個人、家族、財産と法、事故と賠償等について具体的な事例を多く取り上げ、法的理解を講義する。					
薬学準備科			教育学	ドイツの哲学者カントが指摘したように、人間は生得的に持つ素質(遺伝質)のみではなく、その後の生活環境によって形作られる。つまり、人間が人間として円滑な社会生活を送るためには、社会生活における人間形成過程=教育という営みが不可欠なのである。この認識の下に、本講義では、教育とはなにかについて、「人間の発達と教育」「本質主義・自然主義の教育観」「脱学校論」「生涯学習」等の観点から学ぶ。さらに、「日本の教育」について「教育目的の変遷」「現代の教育目的」等から教授した後、「家庭・社会との教育」について学んで家庭や社会が抱える問題を考える講義とする。					
目		健康とスポーツ	健康スポーツ実技	保健科学、医療における協調性、コミュニケーション能力の向上はもちろんのこと、生涯健康を考える上でスポーツは重要な要素になってくる。スポーツを通じて学ぶことも多い。本科目では、保健科学を理解した上で、健康管理能力の向上と体力増進を目指し、実践する。そして厳しい医療現場で対応できる"心"を養い"体"をつくり"チームの和"の重要性を理解させることを目標に実践する。					
			基礎英語	基本的な文法事項や語彙の復習・定着を図り、医療従事者として求められる科学英語や薬学英語の読解に必要な基本的知識について講義する。基本的知識のインプットを基に幅広い分野のトピックに関するリーディングを行い、アウトプットとして問題を深く掘り下げて考えるグループディスカッションを適宜行う。これらの活動を通して、平易な英語でも構わないので自分の意見を英語で相手に伝えきるコミュニケーション能力を養う。					
		外国語	英語 I	グローバル化に伴い医療従事者の医療に関する基本的な英語知識が不可欠となり、また緊急を要する医療現場では素早く正確に英語で情報を読み取る必要性も高まってきた。そのニーズに応えるべく、この講義では医療全般に関わるトピックを中心に、英語文章の話解方略を学び速説力を高める議義をする。また英文語解での情報のインプットだけに留まらず、テキストで得た情報を活用しながら医療が抱える課題に対して自分の考えを的確に相手に伝えるコミュニケーション能力を育成する。					
		英語 II		医療制度の多様化に伴い、「薬」のプロフェッショナルである薬剤師が活躍する領域も大きく広がりつつある。本講義では「英語 I 」で学んだ幅広い医療英語の知識と英語の誘解方略をさらに発展させ、テーマを「薬」に関するトピックに絞り講義する。また TED (Technology Entertainment Design) が提供する最新の医療分野に関連する英語講演を視覚聴覚的教材として用い、薬学英語に特化したリーディング能力に加えてリスニング能力の向上を図る。					

(薬学	⇒部薬学科)	授	業	科	目	Ø	概	要	
()()	科目区分	授業科目の	名称			講義等の	内容		備考
		英語Ⅲ		情報を理解を理解を選集を選集を選集を選集を選集を選集を選択している。	解するために、では英語では英語では、医療、食糧 ・との課題に 国際感覚を見るといる。 国際がある。 ・「これ」ではいる。 ・「これ」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	は、英語で書き いた、英語で書き いた、 いて、 いて、 いに付けるとす は、 に分がい で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	かれた文章の に関する最彩 環境問題や でるこれによ もに、英語の 一プディスカ 論理的に自	ことが多い。これらの の試解力が必要であ 所の記事やコラムを 天気予測などをテー の、国際問題への関 専門書等に対する ションを通して、問 分の意見を内省する うに講義する。	
		英会話 I		語での円滑 必要とされ であろう場 を中心とし 際の場面を	骨なコミュニケ ている。この 面での基本的 た講義で教持 と想定した課	ーション能力 講義では、医 対な英語表現 受する。その知 題を少人数で	や問題を迅速 療従事者とし や医療用語を 調識を基に、関 構成したグル	ない患者が増え、英 速に解決する能力が で将来に遭遇する を、主にロールプレイ 医療現場における実 レープに与え、その 問題解決力を養成	共同
		英会話Ⅱ	Ī	会等ではす医療が抱え解を深めるターセッシ活動を通し	英語による発 える様々な問。 さらに自分 ョンおよびロ	言力が不可欠 題について、 が興味あるテ 頭プレゼンティールドとして	とされている ディスカッショ ーマについ ーションの課	・議論される国際学。本講義では、主にいを通して内容理 て、英語によるポス 題を課す。これらの療人に必要な英語	
薬学準備	外国語	ドイツ語		の回りのこ。 基本表現に た練習だけ	とをドイツ語で こついて解説 けではなく、学	で説明できる。 する。授業で 習した基本表	う講義する。 は、文法事項 現を用いて	紹介などの自分の身 そのために必要な 質の修得を目的とし 学生同士で会話練 5の作文練習を各授	
科目	~~	韓国語		法やする。本講のでは、一次では、本本は、本本は、本語では、本語では、大きないでは、またないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、またいでは、またいでは、またいでは、またないでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、これでは、またいでは、これではないでは、またいでは、までは、またいでは、これでは、またいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	などの類似点 語である韓国 は、ハングルン ングル文字。 できる程度の	が多く、外国 語を習得する 文字の仕組み が読み書きで コミュニケーシ	語の中で最も ことによって について解 きるよう講義 ョン能力を身	ながら、日本語と文 覚えやすく吸収し 韓国との関りを深く 说し、日常生活でよく する。また簡単な日 につける。更に、韓 、韓国の風習や文	
		ポルトガル	盃	ン能早期の場合を見いたが、は、日本の場合を見いますが、これでは、これでは、いいいが、解しているのでは、いいいい、いいい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい	につける等に 見市には、5,6 でるブラジルノ ポルトガル語の ポルトガル語のア 様、必要なび と身につけて こついても理	の「国際性」を 100人以上の外 人は半数程度 を使用する頻 の会話能力は ルファベット、 で法について記 、日常生活で	掲げている。 外国人が居信 となっていせ 度は高く、地 必須である。 発音、挨拶 構義する。ま よく使われて して、ポルト	でのコミュニケーショ 本学部が位置する Eし、ボルトガル語を 、本地域における医 域医療に貢献する このことから、ボルト をはじめ、簡単な会 を、ボルトガル語の いる語彙や簡単な ガル語を母国語に	
		中国語		音の高低を を学び、日 た、日本を を受ける機 な中国語を	を表す「声調」 常会話の対 訪れる中国 会が多くなっ 実用的に使	をはじめ、基立と簡単な文 いが年々増加 いている。こので えるように、二	本的な文法が 書の読解力を して、在日し こめ、医療現 、人一組にな	を表す「ピンイン」と、 及び根幹となる語順 を実践的に養う。ま ている中国人が医療 場で役に立つ簡単 って会話の練習を行 興味が持てるよう工	

(薬学	≐部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
薬学	基	薬学概論	薬剤師が関わる社会の課題について概要を学び、薬学を学ぶことの意義を理解する授業である。国民の健康を守る薬剤師の役割として、医薬品の研究や開発、地球環境問題への関わり、薬剤師としての地域社会への貢献、薬物乱用防止への貢献などが理解できるよう講義する。授業では、講義中に提示した課題に対してSGDを行って討論しながら、意見をまとめて発表し、様々な考え方や捉え方があることを知る中で、学生が薬学を学んでいくための知識と心の準備をする。(オーニバス方式/全15回)(3 稲垣直樹/1回)医薬品の開発と創薬に関わる薬学の必要性を学び、薬学に関係する者の役割について学ぶ。(9 永瀬久光/3回)地球環境問題の成因、生体や生態系への影響、対策等を含む国際的な取り組みに関する基本的事項について学び、薬学関係者の役割について理解する。(17 演武通子/2回)健康管理と公衆衛生の重要性を理解し、薬剤師の役割について学ぶ。また、薬物乱用の問題について学び、社会における薬剤師の役割について理解する。(⑥ 森博美/1回)薬とは何か?薬剤師はなぜ存在するのか?を理解できるように社会や医療の中で薬や薬剤師の果たす役割について学ぶ。又、少子高齢化と地域包括ケアの時代を迎え、今後の薬局や病院などの医療機関、製薬企業や行政のあり方について理解する。(⑥ 西村英尚/1回)薬害や医療過誤について学び、薬害や医療過誤防止と薬剤師の役割を理解する。(33 安田公夫/4回)医療保険制度や社会保険制度について、社会における医薬品を取り扱う制度の在り方について理解さる。また、地域薬局・薬剤師、医薬分薬・医薬品流通について学び、病院やコミュニティファーマシーでの薬剤師の在り方や、医薬品の流通について理解する。(3 稲垣直樹・9 永瀬久光・17 演武通子・⑥ 森博美・④ 西村英尚・33 安田公夫/3回)(共同)薬剤師の課題をテーマに、学んだ内容についてSGDを3回実施し、課題とその解決法を発表するためにコーディネートを行う。	オムニバス方式・共 同(一部・門 講義 24時間 演習 6時間
基本科目	3本事項	チーム医療論	チーム医療における協調性、責任感、コミュニケーション能力の向上は必須である。特に、他の職種とのコミュニケーション能力を伸ばすためには、自らの専門以外の内容を知る必要がある。本学の特性を生かし、薬学科、臨床検査学科、放射線技術学科、看護学科に共通の科目を持ち、学科の壁を越えて本科目を履修することにより、医療現場において必要とされる資質を修得することを目的とする。そのため、医師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、看護師、助産師から職務内容とその実際を講義する。(オムニバス方式/全8回)(8 田中邦彦/1回)医師としてチーム医療に参画するにあたっての役割と働き、患者情報の取り扱いなどを講義する。(12 山岡一清/2回)チーム医療に参画する医療人はどのような職種が参画して構成されているか概要を解説して、学生がこれから学ぶべき協働について講義する。(30 重山昌人/1回)薬剤師としてチーム医療に参画するにあたっての役割と働き、情報の取り扱いなどを講義する。(30 重山昌人/1回)薬剤師としてチーム医療に参画するにあたっての役割とついて講義する。(36 唐沢泉/1回)助産師としてチーム医療に参画するにあたっての役割について講義する。(36 唐沢泉/1回)助産師としてチーム医療に参画するにあたっての役割について講義する。(40 中山章文/1回)臨床検査技師が臨床の現場でどのような業務を行い、チーム医療にどのように関わっているか業務の内容を解説しながら講義する。(42 薬袋淳子/1回)看護におけるチーム医療の変遷と看護師としてチーム医療に参画する役割について講義する。	オムニバス方式
		倫理学	規範倫理学やメタ倫理学の基本的な枠組を講義したのち、出生前診断や選択的人工妊娠中絶、重症新生児の治療といった、将来、医療従事者となる薬学生の関心が高いと考えられる周産期領域の具体的な問題について概説する。こうした具体的な問題群に対して、倫理学の視座からどのようなアプローチがなされてきたかを講義する。臨床現場で生じる問題についてよく示される、「正解がない」とか「何を選んでも正解」といった答え方に依拠しない答え方を、学生と共に考えながら解説する。	

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	目	Ø	概	要	
()(C)	科目区分	授業科目の名	亦			講義等の	内容		備考
		生命倫理学	ż	の基礎知語 倫理学の原 し、過去の 「倫理的に	識を身に着け 成立史や既は 判例や事件 問題である(けることを目標 こある法律、指 等の基本知記 「問題がある)」	とする。この 針、ガイドラ 徴について とされる生作	らない生命倫理学上 ため授業では、生命 イン等について解説 構義する。その上で、 命倫理学上のテーマ ド理解できるようにす	
薬学基本科目	基本事項	医学概論		医に理を (オ(8)医で(1)医ちかて(3)薬携しの(3)助携し(3)診多医理(4)臨職のる(4)看携にわしび、二田の学山人、考医重師関社療書師関社近放種のす中検連場 薬師関関・計算とは、1、中壁の間の患えどは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	つまで域 ス彦とよーあが。社場であのは泉で石の谷泉隽易 で支に器 きてる要で域 ス彦とよーあが。社場であのは泉で石の谷泉隽易 で支に器 きてるの要です。 大きは、み清べ持ま会/必例中る/1必例中一技に解 / に対し / との像回なる東郷回要を助回とすは 回しまて、1 回要を水りが 一般の解しの姿を表げり知しば、知い産りしなす。 いかそり 知しがないが将 80 時回の姿を最近り知しが、1 回りまでは、1 のいかり 知しがは、 知い産り、 1 のです。 1 のです	要関在を 回間 医 にに近に 識なのい 遊なの 必例社 要を合	・術の県 展別 さん療い。 力師い たらき を、食 力師の に関するが制 にのて にのて 技・療 術 臨査 にの活理 でます にたす この理解 になり 能を 医のや い理解 い理解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を受ける患者の気持きな心構えであるべきは素システムを解説して、多職種種が表して現場を解説して現場を解説して、現場を解説して、現場を解説を変して、現場を解説を解説を解説を解説を解説について概として、人を関いて、人を解して、人を表して、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、人を、	オムニバス方式
		薬学入門		の薬方作(は) 植る() 感がいる は、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、主に、 で、まに、 で、、 で、まに、 で、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 で、まに、 、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	新よせの 新よせの がよせる。 原ス朗が、 はのの式力10 にでのます/10 にでのます/10 にでのが、 にでのが、 にでは、 に	者に成長できれ、 底床には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	るかを講義されているがいません。 こついて実を 理解して、このはでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	で概説して、学生がと である。基礎科学から医 か理解し、将来の在り 礎研究から医薬品が か解説する。 別を示しながら講義す れまでの歴史を学び 生と医薬品としての低 の応用例について講 分子機構について事 別を示しながら概説す が作用・副作用の関連 で事例を示しながら講	オムニバス方式

(薬学	*部薬学科)	授業	科 目 の 概 要
OIC 1	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容 備考
	基本	医療コミュニケーション I	医療における接遇、コミュニケーションの基礎を講義と体験学習で行う。「人との関わり方」をテーマに自分自身のコミュニケーションの特徴や相手を理解することを体験を通して理解させる。また、「言語的・非言語的」それぞれのコミュニケーションの特徴を捉え、それらの重要性を理解させる。さらに、患者の気持ちや考えを尊重した上で話を聴き、情報を伝えるスキルについて講義する。最後に、患者やその家族と信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力をロールプレイなどを用いて理解させる。
	事項	医療コミュニケーションⅡ	医療現場で薬剤師として活動を行うためには、患者やその家族、他の 医療職とのコミュニケーション能力が欠かせない。医療コミュニケー ション I では、医療現場でのコミュニケーションの基礎知識とそのスキ ルについて理解した。本講義では、自身の人との関わり方の特性を認 識した上で、患者やその家族、またチーム医療におけるファーマ シューティカルケアに必要なコミュニケーション能力について講義す る。また、患者の実際の事例やロールプレイを体験することで、より体 感的に理解させる。
薬学基本科目		薬学基礎セミナー	本科目は、薬学を学ぶ学生として、薬学の分野にある問題や課題を認識させる目的で行う。教員から課題を提示して、課題解決の方法をSGDで議論した後に、発表させる。課題は、薬学の各領域から注目されているテーマを教員から提示する。教員は、アドバイザーとして学生の意見を聞きながら課題解決の方向性を示し、研究倫理を考慮しながら指導する。(オムニバス方式/全15回)(3 稲垣直樹・18 松井敦聡/5回)(共同)基礎薬学(主に創薬研究)の領域から、注目されている課題を学生に提示して、課題解決の道筋を誘導する。学生はSGDを行い、その課題に対して発表する。(② 杉山剛志・17 演武通子/5回)(共同)基礎薬学の領域(主に感染症と衛生薬学)から、注目されている課題を学生に提示し、課題解決の道筋を誘導する。学生はSGDを行い、その課題に対して発表する。(④ 西村英尚・33 安田公夫/5回)(共同)臨床薬学の領域から、お薬相談や禁煙を課題として提示して、課題解決の道筋を誘導する。学生はSGDを行い、その課題に対して発表する。
Ħ	薬学と社へ	薬事関係法規 I	薬剤師は医療の担い手としての使命があり、倫理的責任及び法的責任を持つ。薬事関係法規 I では、薬剤師に関する法律及び医薬品の関連法規などを実践的な視点から講義する。特に、法令順守の基本的な概念を形成しながら、医薬品医療機器等法、薬剤師法、医療法などの関係法規や制度の理念、更にその施行にあたって関連する事項について、実践的な内容で講義する。これにより、それらを遵守する基本的な態度を身につけることができる。
	会	薬事関係法規Ⅱ	本講義では、公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障するしくみを理解するために、社会保障制度と薬剤経済の基本的知識について講義する。講義の前半では、健康被害救済制度、管理薬に関する規制、社会保障制度、地域薬局に関する基本的知識について実践的な内容で教授する。後半では、患者や消費者の権利を考慮し、責任を持って医療に参画できる薬剤師として、その業務を適切に遂行する上で関連する各種制度について教授する。具体的には、実践されるコミュニディーファーマシー(地域薬局)のあり方と業務、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなど、地域住民の負託に応えられるような薬剤師としての基本的知識について実践例を交えながら学ぶ。
		医療経済·制度論	日本の医療は、国民皆保険制度のもとで高いレベルの医療が低いコストで行われている。21世紀に入り、超高齢社会の時代を迎えて、国民医療費の増加が止まらない現代では、国民皆保険制度を維持するために、保健医療制度改革が行われ、試行錯誤が続いている。本講義では、これらの課題を理解するために、医療と制度、製造販売、医薬品の安全性、医療経済、セルフメディケーション、地域包括ケア、生活習慣病などの課題に対して、医療経済的な視点で講義する。これにより、医療費に占める薬剤費の実情と問題点を学び、医療費の費用対効果を考えて、医療人として備えるべき経済的な知識や視点について解説する。

(薬学	学部薬学科)	授業	科	目	Ø	概	要	
()()	科目区分	授業科目の名称			講義等の)内容		備考
		地域診療薬学	のるす連シ剤で踏割メ域(オ)のあれば、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	理解師 は	で丘な葉のは、	にこれを 事の、 を 事にも 事にも 事にも を をとと、 でを にこれが、 でを にこれが、 をといる でを にいいが、 でで、 にいいが、 でで、 でで、 にいいが、 でで、 でで、 でで、 ででで、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 でいいが、 ででが、 でいいが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがががが、 でいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが	福祉に加えて、介護 舌者が健康に生活す ある。このことを理解 医療、温祉、介護の 引わる地域包括ケア 実際を学ぶ。また、薬 が地域域医療活局の役 かながる病院り、セルフ 災害時も含めた地 の意義を発を基た、 の意義を発を変えた、 の意義を必ずる。客で では、多職種 る。また、普段の連 がない。と、と、を のを ので、これに、きない。 ので、また、 を中心に、・ を中心に、・ を中心に、・ をいる。 のといる。 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 では、 のといる。 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、	オムニバス方式
薬学基本科目	薬学と社会	薬局経営論	を東でいた。 一下ででは、 ででである。 ででであり、 ででであり、 でででは、 ででは、	高局経の 高局経る。 あとしなーなどの実式/型に をは一大経ン方な践全/型に では、方社営薬(期から) でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 でするとのでは、 できるとのできるとのでは、 できるとのできるとのでは、 できるとのでは、 できるとのできるとのでは、 できるとのでは、 できるとのでは、 できるとのでは、 できるとのでは、 できるとのでは、 できるとのでは、 できる	へ変剤医療では、 変剤医ないでは、 変性のでは、 変にはながいですが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	、社会の信間の とした使用に 適ちてことらら 高のことららに トアのように トアのようを でのようを での は での は での は での は での は での は での は での	かれ、地域における在 勢は変化している。そり 経済活動として委ね おける患者のQOLの 、地域における薬局、 ている。本講義では、 着から、それぞれの経 発決しているか講義す 遅させる。 容などについて講義 心に、薬剤師の業務 心に、薬剤の業務 心に、全国展開する 直員教育、資産管理な	オムニバス方式
		実践社会薬学	東すつ題院剤る(オラリカ) におり、20世の病ので、20世のので	○活調実所 を	※薬剤師の下生 ・薬剤師の下に ・薬剤師の下が対応のです。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないでするないでする。 ・大きないできないできないできないできないできないできないできないできないできないで	理教育との表すとの表すとの表すとの表すとの表す。 の地類に対して、 は、 は、 は、 は、 に、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が		オムニバス方式

(薬学	部薬学科)	授 業	科 目 の 概 要	
Ole 1	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		物理化学 I	本科目では、①気体の巨視的状態および分子運動(微視的状態)に 関連する基礎理論、②熱力学、③化学平衡の原理について講義する。①では、気体の性質を理想気体の状態方程式を基に解説する。 ②③では、熱力学の基本法則に基づいた物理変化や化学変化への 適用について講義する。物理化学に関連する多くの用語や数式を扱 うことになるが、系統的にお互いを関連付けて理解できるようにする。	
		物理化学Ⅱ	本科目の前半は、物理化学 I とも大きく関連した内容で相平衡および相変化の熱力学、ならびに相図(状態図)について講義する。また、物理化学的な観点から溶液の性質についても解説する。後半部は、反応速度論を扱い、その考え方と反応速度式の定義、代表的な反応速度式(零次反応、一次反応、二次反応)で表される反応の特徴、素反応の考え方を基にした複合反応における速度式の求め方、反応速度定数の温度依存性について講義する。(オムニバス方式/全15回)(① 笹井泰志/9回)相平衡および相変化の熱力学、ならびに相図(状態図)について講義する。(25 磯野蒼/6回)代表的な反応速度式で表される反応の特徴、複合反応における速度式の求め方、反応速度定数の温度依存性について講義する。	オムニバス方式
		分析化学 I	分析化学の入門および化学分析の基礎理論としての溶液平衡論について講義する。溶液平衡の熱力学的な考え方を理解して、酸塩基平衡(酸塩基の定義、弱酸弱塩基の解離平衡、溶液のpHの計算、緩衝液など)、錯体・キレート生成平衡(錯体・キレートの定義、同生成平衡、キレート生成に影響する因子など)、酸化還元平衡(酸化還元の定義、酸化還元平衡と影響する因子など)、沈殿生成平衡(難溶性塩の解離平衡と影響する因子)および分配平衡(分配平衡、分配比、抽出)を理解して、関連する平衡の計算をできるようにする。	
薬学専門基礎科目	薬学基礎(物理)	分析化学Ⅱ	日本薬局方収載医薬品の定量法(容量分析法、重量分析法)、純度 試験の原理、操作法および応用例について講義する。初めに、分析 用器具、測定値の取り扱い、分析法のバリデーションについて解説 し、日本薬局方の通則を理解して日本薬局方の条文を読むことができ るようにする。その上で、各種滴定法の原理、滴定曲線、終点指示の 方法、標準液の調製と標定法を解説し、薬局方収載医薬品の適用例 と操作法および当量計算について講義する。また、重量分析法の原 理と応用例、日本薬局方収載の一般試験法(化学的分析法によるも の)についても解説する。	
		機器分析化学	薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に活用して、研究の進展や 適切な診断に資することは重要である。薬学領域で用いられる代表的 な機器分析法の基本的知識とその応用例について講義する。機器分 析法の種類と特徴を理解し、原子スペクトル分析法、電気分析法、熱 分析法、クロマトグラフィー(液体クロマトグラフィー、ガスクロマトグラ フィー、薄層クロマトグラフィーなど)、電気が動法、臨床化学における 分析法および最近の臨床診断に用いられる物理的診断法(画像診断 法)について、その原理と応用例を解説する。	
		物理系実習	実習を通して、物理化学系実験の基本的操作、容量分析および機器分析法の技術を修得し、薬学で取り扱う物理化学、分析化学の理解を深めることができるよう実習する。(オムニバス方式/全23回)(1 宇野文二/11回)分析化学で必要な器具やその使用方法を理解し、中和滴定、酸化還元滴定、分光光度法を利用した検出によるHPLC分析法の原理とその操作法を実習する。(① 笹井泰志・25 磯野 蒼/12回)(共同)アセトンの蒸気圧測定から純物質の気体一液体平衡における圧力と温度との関係、ホーフェノール系における相互溶解度曲線の作成による二成分系液相-液相平衡の状態図、ショ糖の加水分解実験を通した化学反応速度論の考え方と応用について実習する。	オムニバス方式・共 同(一部)

		授	業	科	目	0	概	要		
(薬学	部薬学科) 科目	授業科目の名	之称			講義等の	内宏		備考	
	区分 薬学基礎(物理)	物理系薬学剂		実習)で学物理化学的を中心とした(オムニバラ(1 宇野女子の)を呼びる (1 宇野女子の)を変異と実際の物理と実体のでは、物質の物理を対象の物理を対象の物理を対象の物理を対象の対象を対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	加理系科目(物理化学I・II、分析化学I・II、有機構造解析学、物理系 程習)で学習した内容の理解を深め、薬学における諸現象やデータを 助理化学的に説明できる応用力を養うことを目的として、基礎的問題 中心とした演習を行う。 オムニバス方式/全8回) 1 宇野文二/4回) 2学分析や物理分析の実例を薬局方や創薬に求め、日本薬局方収 成医薬品の定量法、純度試験などの分析法や医薬品の構造解析の 真理と実例を理解し、医療や創薬の現場で実践できるようにする。 ① 笹井泰志/4回) 物質の物理化学的な性質や反応に関する課題に取り組むことで、薬 些における物理化学の役割について理解を深める。					
		無機化学		造、化学結 学」の内容 な原理・原見 るとともに、 属の化学に 内での金属	合、分子軌道をさらに詳細 則を講義する 境界領域とも ついても講 の役割など	道、分子間相2 に解説し、無た ら。続いて典型 いえる生命化 義する。後半7	互作用など前機化学の理例 提化学の理例 元素・遷移列 では、触媒化 では無機化学 ないに薬学分	かに主に原子の構 期に学修した「化 解に必須の基礎的 元素について概説す 学ならびに有機金 学や錯体化学、生体 野で応用されている		
薬学専	薬学基礎(化学)	有機化学	I	る者にとって 化学の基礎 の事態をもの ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	て有機化学に をとして、原子軌道や表 ・子軌道や表 ・とりについて を ・なり項構造、 でルカンの球 でが理的性質 類(エナンチ	植物のて重要がの構造、化学の構造、化学の構造などを (ハロゲン化アンその性質や分ス、Brønsted-L 酸性度の関係 質目では、それなどを中心に	な学問である。 結合、Lewis 中心に講義 アルキル、アノ サーカなと Cowryの酸塩 などを中心 ならの命名法 解説する。 ステレオマー	随連の仕事に従事す機 た。本講義では、有機 は、持造の書き方、オカル はする。また重要な官 ルコール、カルボニ で中心に講義す 、基理論(KaやpKaの に基理論(KaやpKaの にな立体配座(いす 立体化学の項目で ・メソ化合物など)と 講義する。		
門基礎科目		有機化学』	п	り上げる。イ 応(SN2・SN アルケンと) 加反応)、M またラジカ/ 反応(付加)	、オン反応の 11反応)や脱 アルキンの項 farkovnikov レ反応の項目 反応・重合反	項目では、ハ 離反応(E2・E 目では、それ 則、逆Markovi 目では、その生	ロゲン化アル E1反応)など らの合成法・ nikov則など E成法や安定 解説する。 f	要な項目について取 ルキルの求核置換反 を中心に講義する。 や反応への利用(付 を中心に講義する。 E性と重要なラジカル 大表的な官能基のう も講義する。		
		有機化学I	ш	成や共役不 て講義する 元反応や有 素-炭素ニ する。また、	・飽和系化合 。カルボニル 「機金属化合 重結合を有っ 芳香族化合	物、芳香族化化合物からの 他合物からの 物との反応を する化合物の物ではその特	ご合物、アルンアルコール、共役不飽 特徴や特有に け徴と芳香族	からのアルコール合 デビド・ケトンについ 合成では、酸化・還 和系化合物では炭 の反応について講義 化合物固有な反応 付加反応について		
		有機化学Γ	V	とエノラート ついて講義 る反応や性 化合物のα 付加につい 用いた反応	イオンの化学 する。カルオ 質を、エノー 炭素におけ て講義する。 を、フェノー	牟、アミン、フェ ジン酸とその誘 ルとエノラート る反応やカル また、アミン	-ノールとハロ 導体ではカ ・イオンの化 ボニル化合 ではその性質 とアリールで	での誘導体、エノールコゲン化アリールにルボン酸を原料とす学では、カルボニル物の縮合及び共役質や合成法、アミンをは、その命名法や性解説する。		
		生体有機化	学	用メカニズ、 する小分子 説して、生作 いて説明で の化学的修	ムが理解でき の構造とそれ 本内に存在す きるように講 な による活	るための講義 いを規定する(ける様々な化す 義する。特に! 生変化や、酵	をする。特に 化学結合と村 合物の機能を リンと硫黄に 素阻害反応	と学的な観点から作 こ生体高分子を構成 目互作用について解 を化学的性質に基づ よる生体内蛋白質へ 機構、受容体に関与 な分子などを中心に		

(薬学	学部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
(24.7	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		有機構造解析学	分子と光との相互作用に基づく分子分光学の基礎を学び、有機化合物の構造決定に応用できるように講義する。また、光を用いる機器分析法について、定量法の視点から解説する。初めに、近代化学の進展の基礎となる分子分光法を概説し、その応用として近代の分子構造解析学について講義する。具体的には、紫外可視分光法、蛍光分析法、赤外吸収スペクトル法、核磁気共鳴スペクトル法、質量分析、旋光度測定法、X線分析法の原理を解説し、各種分光法を利用して代表的な有機化合物の構造を推定することが出来るように講義する。	
薬学専門	学 学	化学系実習	エテンザミドやアルコール、蛍光分子などの合成をはじめとする基礎的な合成化学の実験を行い、記述された実験方法に基づいて合成実験をすることで、有機化合物の反応や合成をより深く理解できるように実習を行う。また、合成反応の後処理、分離精製や得られた生成物の構造解析や同定までの一連の操作を行うことにより、有機化合物の扱いを修得し、合成反応を総合的に体得できるようにする。さらに、反応の基本操作に加え、TLC、NMR、IR等の各種測定機器を用いて生成物の同定、構造解析、定量を行う。さらに、実習中は適宜SGDを行い、化学の内容に特化したプレゼンテーションを体得させる。(10 野下俊朗)エテンザミドの合成を例に、サリチル酸メチルからサリチルアミドへの変換を行い、その後にSN2反応によるサリチルアミドからエテンザミドへの変換の合成実験を行い、有機合成の反応を体得する。また、再結晶法による精製、融点測定、機器分析による構造決定などを行い、構造決定の手法を実習する。(19 萬代大樹)Grignard反応による第三級アルコールの合成を例に、Grignard試薬の調製および安息香酸メチルへの付加反応を行う。禁水条件および不活性ガス雰囲気下で有機金属反応剤を用いる有機化合物の合成の実際を体得する。合成された化合物は、再結晶法により精製して、融点測定、機器分析による構造決定の方法を実習する。(26 小縣綾) 蛍光分子の合成を例に、合成条件が比較的温和で官能基選択性も高い触媒反応のひとつである鈴木-宮浦カップリング反応を実施し、医薬品合成においても実用性が高い化学反応について実習する。そして、合成された蛍光分子の物性評価として、蛍光測定についても実習する。そ	共同
基礎科		化学系薬学演習	これまで、化学、無機化学・有機化学 I・II・III・IV、生体有機化学、化学系実習を学んで、科目別に理解してきたが、化学系薬学演習ではこれらの内容を複合的に理解し、それぞれの学習項目のつながりを明確にすることを目的とする。この演習では有機化学を中心とする化学の知識を元に、化合物の構造の範囲を限定せず総合的な化学の演習問題を用いることによって化学系科目を総合的に理解する。授業は、理解が困難な点を明確にするために確認試験を行い、学生は解答を発表する。また、問題の解決のためにSGDを行いお互いに理解を深める。 (オムニバス方式/全8回)(10 野下俊朗/3回)官能基の性質に応じた反応手法を中心に講義ならびに演習を行う。講義では医薬品合成で使用されている反応例を取り上げ、様々な反応を確認すると共に、どのようにして分子が組み立てられていくのかを解説し、総合的な有機化学の知識や考え方の修得を行う。また「医薬品を化学的に考える」ことを重点に演習を行う。 (19 萬代大樹/3回)有機化合物の命名法および有機化合物の立体構造の総合的な内容を演習する。 (26 小縣綾/1回)化学系実習で学習した内容から、医薬品開発に多用される4つの反応のうちの1つ、遷移金属触媒によるクロスカップリング反応に焦点を当てて説明する。開発現場で実際に多用される化学反応について深く理解し、その合成化合物の官能基による性質の違いについて議論することで、実務実習においても医薬品の化学構造からその化合物の性質を理解できるように演習する。 (10 野下俊朗・19 萬代大樹・26 小縣綾/1回)(共同)これまで学んだ内容と実習で行った内容から、理解が難しい内容をグループの中で明確にし、SGDを通じて学生が相互に学び合う。	オムニバス方式・共 同 (一部)
		生薬学	総論では、日本薬局方に規定される生薬総則、及び生薬試験法を解説し、生薬利用の歴史と生薬の外部形態を講義する。各論においては、日本薬局方収載生薬の基原植物について使用部位別(皮・根茎・葉・果実等)に講義を行い、基原、使用部位、薬効、成分についての知識が蓄積できるように講義する。生薬の標本観察を行いながら生物資源である生薬への理解を深め、現代医療、製薬業界における役割及び生薬成分の利用が理解できるように講義する。また、生薬由来製品の流通基盤となる品質管理、分析方法等についても講義する。	

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	B	Ø	概	要		
ØK. 3	科目区分	授業科目の	名称				備考			
		天然物薬品	1 構来で2 概3 解子4 リメラ的は(2天解生(2天薬(2 を))を対して、変とうが、できず、では、できず、できず、できず、できず、できず、できず、できず、できず、できず、できず	開発性薬 経 質いをいる はいます はいます はいます はいます はいます とく ののではいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	天然年生代 東解する 関 里解する化 の 関 里解する化 の は成 の で の で の で の で の で の で の で の で	民然医薬理解性: ・ 物と生なる生物活性: ・ 物と生なる生物活性: ・ 物と生なる生物活性: ・ 物と生なる生物活性: ・ かと生なる。 ・ かと生なる。 ・ かってに、薬のでは、これでは、で、のでは、で、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、の	は、及び多様な化学るために、自然界由物質の生合成に関し 医路の関係について 合成の概要と要点のいて 合成の概要と要点のいて天然由来医薬子 大色素・香料等・サプ は決定に関する基本、の理解を深める。 を様性と生体作用を はなの二次代謝産物 内容) で資源を起点とした創 および5に係る内容)	オムニバス方式・共 同(一部) 講義 28時間 演習 2時間		
薬学専門	薬学基礎(化学)	<u>そ</u>			薬用植物を理解するための基礎となる植物の形態や分類について講義する。主に日本薬局方収載で植物を起源とする医薬品の原料植物を列挙して、形態、分類、産地、薬用部位、薬効等を解説する。また、漢方薬、ハーブ、スペイス、及びいわゆる健康食品に用いられる有用植物及び、健康被害を引き起こす有毒植物に関して講義する。また、薬草園を利用した植物観察を行い薬用資源への理解を深めると共に、薬草文化、薬用資源の確保と薬用作物の生産・加工・流通について概説する。					
基礎科目		生薬学実	習	種試薬と行るための失と分離特別できる。期間である。期間	と合物の取扱 田識、技能を 製について解 るようにする。 的に観察する 引中に学外の	た法を解説する。ま 習得させる。ま 説することに。 基原植物、生 ことにより、生	けることで、生た、 た、天然生物 より、生薬学行薬標本、粉末 薬の総合的。 した植物観響	に準拠して行う。各東を適切に使用す物質の抽出法員域の研究について 民生薬等の形態と性な知識を身につけさない。 なない、生物資源	共同	
		生薬学演	習	が習難るは(2発ら確の方導(2実発の(2国事)が習難。は(2発ら確の方導(2天動)を併外の(2下)の表別を持ち、近年の方導(2天動)の(2世内のの方導(2下)のでは、近半の方に対して、近半の方に対して、	学の 学の では でい でい でい でい でい でい でい でい でい でい	れらの内容とを かに確認することを かにかにSGD: かにめにSGD: かし回) か悪れ医薬等のにで を楽ないでよりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	複合的に理解と目的とする。 と目的とする。 とを行い、学互とを行いお互い をが生として 変が生として 変が生として である。 である。 では ないで である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	目別に理解してきた 解し、それぞれの学 授業は、理解が困 技解答を深める。 植物分類」の視点か で学習した明 を選し、現 で学習した明 を選し、現 の視点が で学習した。 で学を概、日本薬局 がに対する適切な指 の分析手法と研究開 を起点とした医薬品 いて討論する。研究 薬学の知識を確認 の。	オムニバス方式・共 同(一部)	

(薬学	常薬学科)	授業	科目の概要	
(XC)	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	薬学基礎(生物)	機能形態学 I	機能形態学は、正常な人の各器官の構造や機能を理解し、将来学ぶ疾病の仕組みや治療薬の作用および作用機序を理解するための基礎的学問である。本講義では、最初に、人体全体の器官の名称や位置関係およびそれらを構成する細胞について講義する。次に人の身体は、骨格系、神経系、循環器系、消化器系などの多くの器官系から構成され、これらの各器官系が生命を維持するために重要な役割を果たしていることを理解する。さらに、中枢および末梢神経と骨と筋肉について解剖学的な視点で講義する。(オムニバス方式/全15回)(4金子葉子/7回)生物は細胞から成っている。細胞が規則性を持って集まり組織を形成し、組織が規則的に集まって器官を作り、器官系となり個体を形成している。最初に遺伝と発生、人体の最小単位である細胞の形態・分化・増殖・機能について解説し、分化した細胞が集まった組織について講義する。その後、組織によって構成された器官である中枢神経系について解説する。。(14小畑孝二/8回)人が歩くためには、多くの適切な神経と骨と筋肉の働きが必要である。また皮膚は、外部環境の変化を感受あるいは保護している。それらの構造と機能について、末梢神経および骨や筋肉、皮膚といった器官の名称とともに講義する。	オムニバス方式
薬学専門基礎科目		機能形態学Ⅱ	機能形態学は、正常な人の各器官の構造や機能を理解し、将来学ぶ疾病の仕組みや治療薬の作用および作用機序を理解するための基礎的学問である。本講義では、循環器系、消化器系、泌尿器系、生殖系、内分泌系などを構成する各器官の正常な構造と機能について、説明できるようにする。その際「機能形態学 I 」で学んだ各器官の位置関係や構成する細胞の機能などと照らし合わせて、マクロからミクロ、ミクロからマクロといった視点で生体の理解ができるようにする。(オムニバス方式/全15回)(4金子葉子/6回)内分泌系は、ホルモンを生成して血液中に分泌する内分泌腺で構成される器官である。内分泌腺は各組織や器官の働きを調節する役割がある。内分泌器官の位置、分泌されるホルモン、分泌調節機構について講義する。さらに、感覚器の構造・機能および造血器系の造血幹細胞から血球細胞への分化と成熟について講義する。(14小畑孝二/9回)肺から取り込んだ酸素や飲食によって摂取した栄養素は、血液によって全身に運ばれ、老廃物などの不要なものは尿により排泄される。呼吸器、循環器、消化器、泌尿器系の臓器の位置、機能、形態について講義する。	オムニバス方式
		機能形態学Ⅲ	生体の機能を理解するためには、各器官の理解が必須であるが、生体全体を考えた各器官の関係性を情報伝達物質の作用発現と関連させて理解しなければならない。神経やホルモンなどによる人体の恒常性の維持について、各器官のネットワークやダイナミックな調節機構、さらに疾患との関連性について講義する。(オムニバス方式/全15回)(4金子葉子/6回)神経系がどのように生体の恒常性を保っているかを理解する目的で、神経系の情報伝達機構について講義する。体内で産生され微量で生理・薬理作用を示す生理活性物質(神経伝達物質、ホルモン、オータコイド、サイトカインなど)について解説して、これらの作用機序について講義を行い、相違点を明確にする。(14小畑孝二/9回)体温や血圧、血糖値の維持などの身体の恒常性の破綻が病気である。将来学ぶ疾病の仕組みや治療薬の作用機序を理解するため、血圧、血糖、体液、尿、体温調節、性周期について講義して、基本的な生体制御機構の理解を深める。	オムニバス方式
		生化学 I	生化学は、生命現象を主に化学的な視点から明らかにする学問である。生化学 I では、生きている細胞を構成している物質を理解することに重点を置き、細胞を構成する高分子であるタンパク質、核酸、糖質、脂質とその構成単位であるアミノ酸、ヌクレオチド、糖、脂肪酸ならびにビタミン、微量元素について、その化学的な分子基盤とその特性を講義する。また、酵素反応の特性と反応速度論、酵素活性調節機構についても講義する。(オムニバス方式/全15回)(11 松原守/7回)タンパク質の構造と機能および翻訳後修飾について、また酵素反応の特性と反応速度論、酵素調節機構について、また酵素反応の特性と反応速度論、酵素調節機構について、また酵素反応の特性と反応速度論、酵素調節機構について講義する。(13 岩城壮一郎/8回)生命現象を担う物質であるタンパク質、核酸、糖質、脂質ならびにアミノ酸、ヌクレオチド、糖、脂肪酸やビタミン、微量元素についての機能と役割について講義する。	オムニバス方式

(薬学	常薬学科)	授 業	科 目 の 概 要	
	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		生化学Ⅱ	生化学 II では、生体が生存に必要な物質を合成し、絶えず分解する 過程である代謝(解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、グリコーゲン代 謝と糖新生、脂肪酸代謝、アミノ酸代謝、核酸代謝などについて、全 体像と経路の相互作用およびその調節機構について講義する。ま た、生体エネルギー(ATP)の産生と糖代謝を解説するとともに、脂質 やアミノ酸を含めた生体エネルギー源の貯蔵と利用、およびそれらの 飢餓、飽食時の調節機構について講義する。	
		分子生物学	分子生物学は、生物化学の知識を基に、生命現象を分子レベルで解き明かす学問である。様々な疾患に対する医薬品を導ための基礎としても重要である。とトを含めた真核生物を中心に遺伝子の構造と機能、複製、遺伝情報の発現と翻訳、それらの制御に関する基本的事項を修得する。また、遺伝子を人工的に操作・改変する遺伝子工学技術を学び、生命現象の理解や疾患治療にどのように役立つかを理解する。(オムニバス方式/全15回)(4金子葉子/8回)生命情報を担う遺伝子の構造と機能、複製、遺伝情報の発現と翻訳、それらの制御に関する事項について講義する。(11 松原 守/回)遺伝子を人工的に操作・改変する遺伝子工学技術(制限酵素、プラスミド、シークエンサー、PCR、タンパク質発現など)や遺伝子改変生物およびそれらの医療への応用について講義する。	オムニバス方式
		細胞生物学	生命の最小単位である細胞の構造と機能を分子レベルで解明し、それを基に生物の生命現象を理解しようとすることを目的とする。生命現象における様々な物質の挙動を細胞膜、各細胞内小器官、細胞内輸送、細胞骨格、細胞内情報伝達系などとの関連で解説して、多細胞生物の正常な形成過程における重要な仕組み(細胞分裂、細胞接着細胞間コミュニケーション、細胞分化、細胞死など)やこれらの異常な形態としてのがんなどの疾患のメカニズムについて講義する。	
薬学専門基礎科目	薬学基礎(生物)	微生物学 I	感染症および医療や薬品における微生物の利用を理解するために、 微生物に関する基本的事項を解説する。微生物(細菌、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫、プリオンを含む)の分類および種類ごとに共通な構造、形態、増殖、生理・生化学、遺伝、生活環などの事項について講義する。また、抗微生物薬の概要についても解説する。さらに、感染症の原因となる病原微生物について、その性質と主な病原性を発揮するメカニズムの詳細、抗微生物薬感受性および滅菌・消毒法についての基本的事項を講義する。	
		微生物学Ⅱ	様々な微生物感染症の病態を理解するために、感染現象の基本的事項について講義し、個々の病原微生物(病原性の理菌、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫)の具体的な性状や病原性について解説する。感染の概念と成立過程、日和見感染や院内感染についても説明できるように講義する。(オムニバス方式/全15回)(② 杉山剛志/2回)感染現象の基本的事項である、感染源や感染過程、日和見感染と院内感染について講義する。(20 村上泰介/13回)病原微生物(DNAウイルス、RNAウイルス、グラム陽性菌、グラム陰性菌、グラム陰性とせん菌、抗酸菌、特殊細菌、真菌、原虫)の性状および病原性について講義する。	オムニバス方式
		免疫学 I	自己と非自己を認識する免疫反応、免疫応答の制御とその破綻、免疫反応の応用に関する基本的事項を講義する。自然免疫系および適応免疫系の両者における免疫反応による異物認識・排除機構とその発生過程について、分子レベルのメカニズムを講義し、生体防御反応における免疫系の働きが説明できるようにする。適応免疫系については認識の多様性獲得機構、特異性と自己寛容性のメカニズムを解説し、適応免疫反応の理論が説明できるように講義する。また、免疫反応を利用した検査・診断反応、予防接種、抗体医薬品等についても講義する。	
		免疫学Ⅱ	免疫系の制御機構の破綻と関係している自己免疫疾患、炎症性疾患、過敏症、免疫不全症など様々な疾患について講義する。また、腫瘍の発生や移植における拒絶反応等に関する免疫系の制御についても講義する。さらに、免疫系の制御のバランスが崩れて起こる免疫不全症の発症機構およびそれらの病態や治療について講義する。	

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	目	0	概	要		
(栄子	科目区分	授業科目の	名称			講義等0)内容		備考	
		生物系実	習	成得定の分とは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	生化学、分子生物学、微生物学ならびに関連科目で学んだ生体構成分の性質や機能、微生物の性状について、実験をとおして理解・併得させる。特に、生体高分子(タンパク質、核酸)の生化学的な分離、定性、定量法や酵素とその阻害剤に関して実験を行う。また、微生物の分離、培養法、染色法および薬剤感受性試験の基本操作と技術を身に付けるよう実験する。(オムニバス方式/全23回)(4金子菓子・11 松原 で・13 岩城壮一郎/15回)(共同)生体高分子(タンパク質、核酸)の生化学的な分離、定性、定量法や酵素とその阻害剤に関する技術について実習する。(② 杉山剛志・20 村上泰介・22 所俊志/8回)(共同)微生物の分離、培養法、染色法および薬剤感受性試験の基本操作と					
薬学専門基礎科目	薬学基礎(生物)	生物系薬学	演習	学でが試を(イ遺け(微胞(1生象)4年之村物)を(14)を(12)を(14)を(14)を(13)を(14)を(14)を(15)を(14)を(15)を(15)を(15)を(15)を(15)を(15)を(15)を(15	ッ学 I・II で がたらする では、 にに、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	・ 在 で と を と を と を と を を と を を を を を を を を を	系実習を学ん 経工、その 経工、その 対解なた、問題 を免疫、免疫 富主側の両面 は付け、生物の が成や分解に が成や分を にはなった。 にはなった。 を発表である。 はなた、問題。 なたのではない。 はなた、のではない。 はなたが、といいではない。 はないではないできない。 はないではないできない。 はないできないできない。 はないできないできない。 はないできないできないできない。 はないできないできないできない。 はないできないできないできない。 はないできないできないできないできない。 はないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	生物学、細胞生物で、科目別に理解しいの学習項目のつな確にするために確認の解決のためSGD 細胞などと関連をついから分子レベル・細の基本原理や生命現関連付け、生命活動こ説明する。	オムニバス方式	
		公衆衛生	**	学、成人病 る基礎につ (オムニバ (9永衛生 公衆衛生講 (17演衛生 公衆衛生	射対策、母子 りいて講義す ス方式/全1 光/7回) 学の理解に必 を行い、公 番子/8回)	保健、学校保 る。 5回) 公要な保健統 衆衛生学の基 公要な感染症、	健、産業保賃 計や疫学、疾 礎的な内容	される保健統計、疫 は、精神保健に関す 病予防と感染症に を理解する。 は、母子保健につい	オムニバス方式	
薬学専門科目	衛生薬学	食品化学と	建康	る。いる記述は、一名の記載では、一名の影響でいるが、一名の影響でいるが、一名の影響でいるが、一名の影響でいるが、一名の影響でいるが、一名の影響でいるが、一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一	地段摂えるという。 は域様へて生素的に全球では、 とり、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人々は食事から 分栄養である事実に たり、 を関係である事長である事長である事長である事長である事長である事長である事長である事長	ら栄養を取り は疾病の予防 とが基準の とが基準の とが基準の に、 で、食品とでも での代謝 き異常と での代謝 き異常と、 さいでも でや代謝 きいまする。また、	、薬を服用してい 、健康の維持に努め や進行、予後に重 ている。 品機能による食事と はる健康危害を防ぐ はに関する内容を実 現場の判断や対応 いて、代謝と関連付 疾患の保 発がん物質、食品の保	オムニバス方式	
		衛生化学	I	とがある。こ (吸収、分 毒性発現) 身の回りの 利用されて	これら有害化 布、代謝、排 メカニズム、ま か化学物質は こいる。ここで	学物質の代表 泄)、急性毒性 たその中毒の 種々の毒性	き的なものにで 生・慢性毒性 の解毒処置法 対験を経て安 性試験及び記	こより疾病が生ずるこ ついて生体での動態 ・特殊毒性の特徴、 について講義する。 全性を評価した上で 平価法、さらには化 る。		

(薬学	*部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
OIC 7	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		衛生化学Ⅱ	環境は、科学の進歩により日々変化している。便利な世の中になる一方で、これに伴う環境の変化により人の健康や生態系に影響を及ぼしていることも事実である。化学および毒性学に精通している薬学出身者は、人々が毎日摂取する食品、水、空気中に含まれる化学物質の管理者であることを、社会から要求されている。本講義では、地球環境と生態系、環境保全と法的規制、水環境、大気環境、室内環境、廃棄物に関する講義をする。(オムニバス方式/全15回)(9永瀬久光/9回)地球環境問題の成因、影響、対策等について講義する。また、過去の環境(公害)問題の歴史及びその対策のための法制度と共にどのように解決してきたかを解説する。さらに、水環境について、水質汚染による健康被害、その対策としての下水道、排水処理等について、素質汚染による健康被害、その対策としての下水道、排水処理等について、養育理を含めて講義する。(21 井戸章子/6回)空気環境について講義する。大気汚染物質やその健康被害、環境基準等、また室内環境を評価するための代表的な指標や室内環境保全について講義する。さらに、廃棄物の種類や処理方法とその問題点、また廃棄物に関する法規等についても講義する。	オムニバス方式
薬		衛生系実習	大気、河川水等の生活環境を保全、維持し、生活に欠くことのできない水道水の安全な利用のためには、環境汚染化学物質などの定量分析をおこなう必要がある。本実習では日本薬学会編「必携・衛生試験法」に基づき各試験法の原理を理解し、基本的操作を実習する。試験法の対象となるのは、飲料水、下水・河川水及び空気中の汚染物質等である。また、分析疫学のリスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度などの計算法も実習する。(9 永瀬久光)実習の進め方の説明、発表の指導とレポートの評価など、総括・監督を行う。(21 井戸章子)実習の指導を行い、実習をすすめてレポートの評価も行う。	共同
学専門科目	衛生薬学	衛生系薬学演習	公衆衛生学、衛生化学 I・II、食品化学と健康、衛生系薬学実習を学んで、科目別に理解してきた。これらの内容を複合的に解説し、それぞれの学習項目のつながりを明確にするよう講義する。授業は、理解が困難な点を明確にするために確認試験を行い、学生は解答を発表する。また、問題の解決のためにSGDを行いお互いに理解を深める。(オムニバス方式/全8回)(9永瀬久光/2回)健康日本21(第2次)の各目標についてどうすれば達成できるか、また、メタボリックシンドローム対策について健康増進の観点からどのような対策が行われるべきか演習する。日本人のがん患者数および死亡率が増加している部位を挙げ、それぞれについて増加原因と予防についても確認する。(17 演武通子/2回)疾病予防と健康管理について、特に感染症について関係法規、予防接種を含めどのような予防対策が取られているかを実践の視点で演習する。(21 井戸章子/2回)環境汚染に関する測定法について演習する。特に環境汚染物質と生体への侵入経路やその体内代謝、さらに毒性と安全性評価からくる基準値の設定について考える。(50 三嶋智之/2回)健康の維持のための栄養の重要性についてサブリメントやセルフメディケーションについて調査・発表させる。	オムニバス方式
		サプリメント概論	サプリメント・健康食品は法制化されている「特定保健用食品」「栄養機能食品」「機能性表示食品」の他、栄養補助食品、機能性食品など様々な名称が曖昧に広がっている。これらが実際に機能性を有していたり、機能性を広告していたりするため、疾病を持つ人や病院においても患者に使用される可能性がある。本講義では、機能性を謳える制度そのものについて解説して、行政からみた現状の課題を実践的な視点で講義する。機能性成分の働きや具体的な商品の事例を解説する。	

(薬学	部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
(*)	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		薬理学 I	総論において、薬理学にかかわる専門用語を確認し、薬物の作用機序の理解に必要な生体の仕組みと機能、生体機能の調節にかかわる情報伝達分子とその受容体、イオンチャネル、トランスポーター、酵素などについて概説する。特に関連薬物が多い生体内情報伝達分子の受容体および細胞内情報伝達経路を講義する。また、内臓諸器官の授能調節に役割を演じる自律神経系の構築、関与する神経伝達物質および受容体を概観し、関連薬物の薬理作用を講義する。さらに、知覚神経および運動神経にかかわる薬物の薬理作用を解説する。(オムニバス方式/全15回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)(3稲垣直樹/6回)末梢神経系を担当する。生体の構築と機能調節の仕組みを概観し、薬理作用の機序を理解するための基礎を解説する。(24 吉岡弘毅/9回)末梢神経系を担当する。内臓諸器官の機能を調節する役割を担う自律神経系にかかわる薬物は種々の疾患の治療に用いられることから、特に自律神経系について詳述する。自律神経系、体性神経系の構築および身体機能調節の役割を概説し、関連する医薬品の薬理作用を解説する。	オムニバス方式
薬学	DEC.	薬理学Ⅱ	薬理学 I の総論で確認した基本事項に基づき、中枢神経系、循環器系、泌尿器系、呼吸器系および消化器系の構築を解説し、それぞれにかかわる疾患の治療に用いられる薬物の薬理作用について講義する。また、平滑筋の収縮・弛緩の機序を確認し、平滑筋に作用する薬物の薬理作用を解説する。(オムニバス方式/全15回)(3 稲垣直樹/9回)循環器系、泌尿器系、呼吸器系および消化器系の生体内での位置づけを確認し、関連疾患の病態を概観した後、治療に用いられる薬物の薬理作用について講義する。また、平滑筋、心筋、骨格筋の特徴を確認し、平滑筋に作用する薬物の薬理作用を解説する。(18 松井敬聡/6回)中枢神経系の構築を確認し、中枢神経関連の疾患の病態を概観した後、治療に用いられる薬物の薬理作用を詳述する。	オムニバス方式
予専門科目	医療薬学	薬理学Ⅲ	薬理学 I の総論で確認した基本事項に基づき、炎症および免疫の役割、血液細胞とその役割について解説し、関連する疾患の治療に用いられる薬物の薬理作用について講義する。また、オータコイドおよびホルモンに関連する薬物、ならびに代謝性疾患の治療に用いられる薬物の薬理作用についても講義する。(オムニバス方式/全15回)(3 稲垣直樹/12回)炎症、免疫、血液、ホルモンおよび代謝に関連する事項について講義する。炎症および免疫の役割、血液細胞とその役割について解説し、関連疾患治療薬の薬理作用について講義する。また、ホルモンおよび代謝に関連する疾患の治療薬の薬理作用についても講義する。(18 松井教修/3回)オータコイドの種類および役割を解説し、関連する薬物の薬理作用について講義する。	オムニバス方式
		薬理系実習	中枢神経系に作用する薬物の効果、および末梢神経系が支配する組織、臓器に作用する薬物の効果を実験動物あるいは摘出組織を用いて評価する。動物実験による薬物の効果の評価法と共に、信頼性の高い成績を得るための技術も実習する。さらに、動物実験を取り巻く社会環境の変化について講義し、動物実験に関する倫理観を身につけるよう概説する。(オムニバス方式/全23回)(3 稲垣直樹・18 松井敦聡・24 吉岡弘毅/8回)(共同)担当する教員から薬理系実習に関する進め方について説明を行う。また、動物実験の倫理と福祉について講義する。さらに、動物の取り扱い方と薬物投与の方法について実習する。(3 稲垣直樹/3回)モルモット回腸標本に影響を及ぼす薬物の評価に関する実習を行う。(18 松井敦聡/6回)中枢興奮薬および中枢抑制薬の行動による評価、および麻薬性鎮痛薬および解熱鎮痛薬の効果の検討に関する実習を行う。(24 吉岡弘毅/6回)局所麻酔薬の効果の検討、骨格筋標本を用いた薬物の評価、血圧に対する薬物の評価およびモルモット心房標本を用いた薬物の評価、恒関する実習を行う。	オムニバス方式・共 同 (一部)

(薬学	常薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		薬理系薬学演習	薬理学 I・II・III、薬理系実習を学び、科目別に理解した。これらの内容を複合的に理解し、それぞれの学習項目のつながりを明確にする。また、薬物動態学 I・IIとの関連性を考えることができる講義を行う。授業は、理解が困難な点を明確にするために確認試験を行い、学生は解答を発表する。また、問題の解決のためにSGDを行いお互いに理解を深める。 (オムニバス方式/全8回) (3 稲垣直樹/2回) 免疫系、呼吸器系、消化器系の疾患の治療に用いられる薬物を中心に演習する。 (18 松井敦聡/3回) 中枢神経系、循環器系、泌尿器系の疾患の治療に用いられる薬物を中心に演習する。 (24 吉岡弘毅/3回) 末梢神経系、代謝系、内分泌系の疾患の治療に用いられる薬物を中心に演習する。	オムニバス方式
		薬物動態学 I	薬物の生体内動態は、吸収(Absorption)、分布(Distribution)、代謝(Metabolism)、排泄(Excretion)のADMEによって調節されている。本講義では、ADMEの基礎知識を解説すると共に、個々の薬物のADMEに関する知識を講義する。さらには、ADMEに影響を与える相互作用,疾患あるいは生理的要因などを解説することにより、適切な薬物治療を推進しうる薬剤師となるための基礎知識について講義する。	
薬学専門科目	医療薬学	薬物動態学Ⅱ	薬物の体内動態は、薬物の物理化学的性質と、薬物と生体との相互作用によって決まる。また、薬物の薬理作用(薬効)は、薬物の活性の強さと薬物の体内動態に依存している。したがって、薬物の薬効を最も適切に発揮させるためには、その体内動態を把握する必要がある。本講義では、種々の方法で投与された薬物の体内動態について、薬物速度論的解析により体内動態を解析するための知識および技能ならびに薬物動態と薬効の関係を解析するための知識および技能が習得できるように講義する。さらに、個々の患者の状態に合わせた投与設計を考えるための各種疾患と薬物動態の関係に関する基本的知識について講義する。	
		薬物動態学実習	臨床における医薬品の体内動態評価においては血液中の薬物量(薬物濃度)を指標として薬物速度論的解析が行われる。本実習では、小動物を用いた医薬品の体内動態評価に関する実験手技(血中薬物濃度の測定およびタンパク結合の解析)を実施し、動物実験を用いて医薬品の消化管吸収について実習を行う。これにより、臨床における薬物治療の場で必要とされる薬物動態学的知識と技能(薬物速度論解析、体内動態の解析と投与設計)が修得できる。さらに、本実習で行う動物実験を通じて、生命に対する倫理観の醸成ならびに薬剤師の任務および職能についても概説する。	
		薬物動態学演習	薬物動態学は薬学特有の学問であり、薬剤師は患者に投与された薬物の生体内運命について最も詳しい医療従事者である必要がある。 さらに各種薬物動態学的解析により知り得た医薬品の体内動態に加え、製剤学的な特徴や薬理学的挙動と結び付けることでより良い薬物治療を提案・推進していくことが薬剤師の職能であり、使命である。本科目では医薬品開発および医療現場における薬物動態学の位置づけならびに重要性について解説する。さらには適切な医薬品開発や薬物治療を推進しうる薬剤師となるための実践的な思考力および応用力を習得できるよう演習する。	
		感染症治療学 I	本講義では、病原細菌に作用する医薬品の薬理および感染性疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識の修得ができるように講義する。総論として、抗菌薬の種類、作用機序、抗菌スペクトル、副作用、相互作用、組織移行性などについて講義し、説明できるようにする。また、各論として臓器別の細菌感染症について主な病原体とその病態、感染経路を学び、抗菌薬の選択、薬物治療および予防接種による予防対策について説明できるよう講義する。さらに、薬剤耐性菌問題に関連して、耐性菌の耐性獲得メカニズムや抗菌薬の適正使用について解説して、院内感染対策について説明できるよう講義する。	

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	目	D	概	要		
(Ж.)	科目区分	授業科目の	名称		講義等の内容					
		感染症治療	品講楽では、 ・ では、 ・ では、	感染症治療学Iに引き続き、細菌以外の病原微生物に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識について講義する。主な病原性の真菌、原虫、寄生虫およびウイルスによる感染症について、抗ウイルス薬、抗真菌薬、抗原虫薬および抗寄生虫薬の種類、作用機序、副作用、相互作用、組織移行性など解説する。また、特異的な治療薬の無い感染症に対しては病態及び対症療法等による薬物治療について説明できるよう講義する。感染症治療学 I および II の学習の総括として症例をもとにグループ討論を行い、治療法およびその際の注意点等をまとめ、学生に発表させる。(オムニバス方式/全15回)(② 杉山剛志/11回)抗菌薬以外の抗微生物薬について講義する。(② 杉山剛志・20 村上泰介/4回)(共同)グループ討論および発表のアドバイス、抗微生物薬治療全般について演習形式で行う。						
薬学専門科目	医療薬学	病態薬物治療	禁学 I	治解るる枢ン作には、神に、オースをは、神に、神に、は、神に、は、神に、は、神に、は、神に、は、神に、は、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、神に、	すび医枢、紀立は、知らは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	で頂を解開では、 で頂を解開では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	、治療に必。 で講義・病に必。 で講義・病にも の薬、病にも にんかん表し、これらの 性、治療に講生の さらに代える。 といっさらに代える。 といっさらに代える。 といっさらに代える。 といっさないで、表的 といっさらに代える。 といっさないで、来物の といっないで、来物の	疾患の病態・薬物 要な情報収集とその 主に、末精神経であ 台療に関して解説し、麻酔・中血管疾患、パーー 薬物の薬理作用、薬 薬の化学構造と薬効 概要について解説 する。また、神経疾患 首情報を収効能・効 り薬効に関するメカ 作用情報や副作用	オムニバス方式	
		病態薬物治療	禁学Ⅱ	び要炎療治(36年)の報にしにバ直集に含文字を企に療工・垣集にる子学にないので、36年の報にして、16年の報には、16年の表別で、18年ので、	病収のででは、 病収のででは、 病収のででは、 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 が変われた。 があれた。 がなる。 がな。 がなる。 がな。 がなる。 は、 がな。 は、 がな。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	療には大きな。 原には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	本的事項を行いています。 本本的事項を行いため、 本本のでは、アカルシウンのでは、アカルシウンので、 本のでは、アカルシウンのでは、 本のでは、 本のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	薬品の薬理作用およ解説して、治療に必 業義する。主に、抗 疾患の薬、病態、と 人間疾患の病態と の薬効に関するメカ 副作用予測等が説 レーショックや自己免 義する。また、患者 の設定でしたいても 対する病態や診断 の病態およびそれら	オムニバス方式	

(事)	学部薬学科)	授	業	———— 科	目	0)	概	要	
(**)	科目区分	授業科目の	名称			講義等の	内容		備考
		病態薬物治療	豪学Ⅲ	品説には、	作療療表のは、	思想の収集と表 東本の東集とその 東本の東を 東本の東東 大に、 大に、 大に、 大に、 大に、 大に、 大に、 大に、	物治所に対する。 か治療に大きなで、関する。 を表している。 をましている。	器系に作用する医薬する基本的事項を作うと基本的事項を作うと素品の適正使用意、止血や血液凝固を放射を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	曜 計 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
薬学専門科目	医療薬学	病態薬物治療	豪学IV	態集管代た序では、3 呼のき得(8 呼)のと、2 が過ご、2 によれ、2 によれ、2 により、2 により、2 により、2 により、3 により、2 により、3 により、4 により、	お療料を は な は な は は は は は は は は は は は は は	基本的の適思は 東品の患、間を 東出所、作いら、 にて 5回)の病態学が のズルを予測がるの、治学や が大き、 が大き、 が大き、 が、ことにない。 が、ことにはない。 が、ことにはない。 が、ことにはない。 が、ことにはない。 が、ことにはない。 が、で、ことにはない。 でいるとにはない。 でいるにはないる。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいるない。 でいるにはない。 でいるにはない。 でいる。 でいる。 でいる。 でいるない。 でいるない。 でいるない。 でいるない。 でいる、	解説して、たてという。 という はいい はい	用および疾患の病 療に必要な情報収 講義する。主に、気 の疾患に用いられ。 用について学ぶ。ま 関について学ぶ。 関について学ぶ。 関いで解説して、 がで解説説明が で変理学的な知識の付 がで変理学的な知識の付 がこかにでいないで にでいる。 がで、 を変更が、 にでいる。 は、 にでいる。 がで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	る。
		病態薬物治療	豪学 V	作治ての薬鼻機い(18世紀) では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	『疾失性では、 「疾失性をしている。」 「疾失性をしている。」 「疾失性をしている。」 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ない。 「ない。 「ないる。 「ない。 「ない。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「な、 「ない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ない。 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、	・薬物の解析で、 を基とを と生産な別において、 を作り、 において、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を表し、 を解析し、 を表し、 を解析し、 を表し、 を解析し、 を解析し、 を解析し、 を表し、 を解析し、 を表し、 を解析し、 を表し、 をまし、 を表し、 を表し、 を、まし、 を、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、まし、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	関よび原本に 関よが 関よが 関よが 関まで 関まで 関本で 関本で 関本で の表も の表も ののよう のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの	用する医薬品の東理 的事項を解説して、 の適定な 質異常症、な薬物に で質異常症、な薬物の、また、眼疾患、 物の薬患の作用、作り で、主性、 で、主性、 で、主性、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	デーラウン オムニバス方式

(薬学	学部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
(AC)	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		悪性腫瘍治療学	近年のがんの治療は、抗がん剤、放射線治療、そして外科的治療の3者が組み合わされ、患者のQOLと平均寿命を勘案した治療法の選択がされる時代となった。高度化と複雑化するがん治療に関して、固形腫瘍及び血液腫瘍に対するガイドライン、特徴と臨床症状、病期分類、化学療法の薬効および副作用などについて講義する。(オムニバス方式/全15回)(30重山昌人/8回)肺がん、乳がん、大腸がん、胃がん、緩和医療及び支持療法について講義する。(る 谷澤克弥/7回)各種抗がん薬、腎細胞がん、膀胱がん、血液腫瘍について講義する。	オムニバス方式
薬学専門科目	医療薬学	病態薬物治療学演習	感染症治療学 I・II、病態薬物治療学 I・II・III・III・IV・V、悪性腫瘍治療学を学んで、科目別に理解してきた。これらの内容を複合的に理解し、疾患の病態、適格な薬物治療、医薬品情報や安全性、治療ガイドラインなどに考慮した適正な薬物治療が遂行できる学力を身に付けることを目的とする。授業は、理解が困難な点を明確にするために具体的な課題を与え、確認試験を行い、学生は解答を発表する。また、問題の解決のためにSGDを行い、お互いに理解を深める。(オムニバス方式/全8回)(4金子葉子/1回)免疫疾患から学んだ病態と治療について複合的に理解できるように講義する。特にアレルギー疾患について病態と治療薬についてはSGDで討議する。(8田中邦彦/3回)これまでに学んだ病態やその治療について概説して、実際の臨床現場で患者に即した薬物治療を選択・実施できるよう総合的に演習する。また、神経疾患から学んだ病態と治療法をテーマに討議し、複合的に考える。(20村上泰介/1回)感染症とその治療薬について総合的に概説して、地域で活躍する薬剤師として、肺感染症、下剤性感染症、性感染症などの臨床例に即して、薬剤耐性菌などの問題を考慮しながら適切な抗菌薬を選択し、薬物治療を実施できるよう演習する。(30 重山昌人/1回)病態薬物治療学と悪性腫瘍治療学の中で、呼吸器疾患及び消化器疾患を取り上げ、最新の治療ガイドラインに基づいた薬物治療を再確認するとともに、用いられる薬物の作用機序、治療効果と副作用などを討議する。(③ 谷澤克弥/1回)病態薬物治療学の中で、循環器系、血液系、造血器系、泌尿器系および生殖器系から学んだ病態と治療について複合的に討議する。(④ 西村英尚/1回)病態薬物治療学の中で、代謝系・内分泌系疾患と感覚器・皮膚疾患にから学んだ病態と治療について複合的に討議する。(④ 西村英尚/1回)病態薬物治療学の中で、代謝系・内分泌系疾患と感覚器・皮膚疾患にから学んだ病態と治療について複合的に討議する。	オムニバス方式
		セルフメディケーション論	適切な薬物治療および地域の保健・医療に貢献する目的で、要指導医薬品・一般用医薬品およびセルフメディケーションに関して学ぶ。サプリメントと医薬品の相互作用や、種々の疾患や症状に対する相談に対して、適格なアドバイスができるように講義する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的事項についても解説する。(オムニバス方式/全15回)(7 宗林さおり/5回)健康食品やサプリメントに関する相談の対応について実践的な事例を紹介しながら解説して、有害事象を未然に防ぐ必要性を講義する。(17 演武通子/5回)要指導医薬品や一般医薬品について、患者情報の入手や医薬品の情報を収集し、適格なアドバイスができるよう実践的内容を講義する。(34 仲山千佳/5回)頭痛、発熱、咽頭痛、腹痛、下痢便秘、倦怠感など症状への相談に対して的確なアドバイスができ、OTC薬に対する説明ができるよう講義する。	オムニバス方式 講義 28時間 演習 2時間
		医薬品情報学	薬学的管理を実施するに当たり、多くの文献、ガイドライン等の医薬品に関連する情報の中から必要な情報を迅速に抽出・判断・適用するスキルについて講義する。また、薬剤師としてチーム医療の中で活用できるように医薬品情報の種類とその活用方法、関連する法規についても学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (17 濱武通子/5回) 市販後調査、臨床試験、情報検索と収集、医薬品情報の取扱い、それらに関係する法律・制度について実践的な側面から講義する。 (③ 谷澤克弥/10回) 医薬品情報総論と、EBMにおける医薬品情報の考え方、医薬品の開発過程における情報の重要性、臨床現場における情報の収集・評価・加工について講義する。	オムニバス方式

(薬学	·部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
(Ж.)	科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		臨床統計解析学	医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を理解し、正しく扱うことができるよう、EBMの実践や生物統計、臨床研究デザインおよび解析に関する基本的な事項について講義する。さらに医薬品開発や薬剤疫学などの分野においてプロトコルの立案やデータ解析、評価に必要な基本的な内容を解説する。これにより、個々の患者に適格な投与計画を立案できるようになり、薬物治療の個別化にも対応できるよう講義する。	
		医療情報系薬学演習	セルフメディケーション論、医薬品情報学、臨床統計解析学を学んで、科目別に理解してきた。これらの内容を複合的に理解し、それぞれの学習項目のつながりを明確にする。授業は、理解が困難な点を明確にするために確認試験を行い、学生は解答を発表する。また、問題の解決のためにSGDを行い、お互いに理解を深める。(オムニバス方式/全8回)(17 演武通子/4回)薬剤師はセルフメディケーションにおける役割を理解し、市販薬の適正伸用や予防に関する正しい指導を行うことが重要である。本講義では、適切なセルフメディケーションの支援をするために、患者の生活状況把握や使用する医薬品情報等の入手、要指導医薬品や一般医薬品等の医薬品情報収集について実践的な視点でSGDを行いながらそれぞれの課題について討議する。(③ 谷澤克弥/4回)薬物治療に必要な医薬品の情報は、正確であり信頼性が重要である。この情報を基に処方計画立案をするために、どのようなスキルが必要か、SGDを取り入れながら実践的に計議する。また、臨床試験を適切に計画できる能力を実践的に解説する。	オムニバス方式
薬学	医	製剤学 I	医薬品化合物を投与形態である製剤に仕立てるため(製剤化)には、各種成分の物理化学的性質を正しく理解し、利用する必要がある。その知識習得を目的に、本科目では、固体、半固形、溶液状態の医薬品の性質やその評価法について概説する。また、それらが関連する分散や溶解といった現象の物理化学についても講義する。医薬品化合物の安定性に影響を及ぼす因子についても述べ、代表的な製剤的手法による医薬品化合物の安定性改善方法ついて解説する。さらに、製剤に汎用される高分子添加剤の構造、性質、そして製剤化における役割についても講義する。	
専門科目	療薬学	製剤学Ⅱ	薬物治療では、患者の負担が小さく、医薬品化合物の薬理効果が体内で適切に発揮されることが望ましい。本講義では、医薬品化合物の物性や各種疾患の特性に基づく、薬物治療の最適化のための製剤の種類やその特徴について概説する。さらに、投与された医薬品化合物の体内動態の制御や効率的な利用を目的とした各種ドラッグデリバリーシステム(DDS)、薬物の吸収改善技術について事例を挙げながらその仕組みと得られる効果について講義する。 (① 笹井泰志/11回) 薬剤の投与経路について概説し、各投与経路に最適化された製剤の種類、特徴、製造法、試験法について解説する。また、製造に関わる規制についても講義する。 (① 笹井泰志/4回) 薬物治療の最適化のためのDDSについて概説し、事例を挙げつつ、各種DDSの意義と特徴について講義する。	
		症候学	症候学は、患者の体内で起きている病態生理学的変化や進行している病態について解説を行い、診断に至る考え方や見方について講義する。患者が選択しようとしている治療の方法について、患者に適確な情報が提供でき、高い治療効果が受けられるよう解説する。(オムニバス方式/全15回)(29 梅村雅之/3回)めまい、頭痛、視力障害、聴力障害、運動麻痺・不随意運動・筋力低下、記憶障害、知覚異常(しびれを含む)・神経痛に関係する疾患について講義する。(30 重山昌人/3回)腹痛、悪心・嘔吐、胸水、胸痛、呼吸困難、咳・痰に関係する疾患について講義する。(③ 谷澤克弥/3回) 養熱症状、関節痛・関節腫脹、腰背部痛、リンパ節腫脹に関係する疾患について講義する。(④ 西村英尚/3回) 嚥下困難・障害、食欲不振、下痢・便秘、吐血・下血、腹部膨満(腹水を含む)、タンパク尿、血尿、尿量・排尿に関係する疾患について講義する。(33 安田公夫/3回)けいれん、意識障害・失神、高血圧、低血圧、ショック、チアノーゼ、貧血、出血傾向に関係する疾患について講義する。	オムニバス方式

(薬学	学部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
	科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		臨床薬剤学	薬局で市販されている薬局製剤を調製し、販売するまでの過程を解説する。また、主に製剤部門で調製される製剤の種類、効果効能、およびそれらの役割を解説する。添加剤が組み合わされた製剤の多くは適用外使用であり、それらの使用には医学的・薬学的根拠が必要で、倫理と密接に関係している。一方、補液や高カロリー輸液の処方鑑査や調製の実際についても解説する。ここで示す実際とは、「処方提案ができるようになること」であり、これをを念頭に基本的な考え方を理解し、電解質や栄養素の組み合わせの計算を例に解説する。また、抗悪性腫瘍薬の調製前、調製中、および調製後に薬剤師が考えるべき基本的な理論や実際についても講義する。これについては、「疑義照会ができるようになること」を念頭に解説する。さらに、高齢者・小児・妊婦・授乳婦に対して、薬剤を投与した後の体内動態(吸収、分布、体謝、排泄)とその変動要因について講義する。(オムニバス方式/全15回)(29 梅村雅之/7回)院内製剤及び薬局製剤の調製及び無菌調製について講義する。(30 重山昌人/2回)院内製剤の基礎知識及び製剤設計について講義する。(36 谷澤克弥/2回)抗悪性腫瘍薬の取り扱いについて講義する。(36 谷澤克弥/2回)抗悪性腫瘍薬の取り扱いについて講義する。(67 谷澤克弥/2回)抗悪性腫瘍薬の取り扱いについて講義する。(67 谷澤克弥/2回)抗悪性腫瘍薬の取り扱いについて講義する。(68 谷澤克弥/2回)抗悪性腫瘍薬の取り扱いについて講義する。(68 谷澤克弥/2回)精・大質、4年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年、2年	オムニバス方式
		漢方の基礎	近年は、公衆衛生的な意識が高まり感染症による死亡率が減少する中で、多くの生活習慣病が社会問題になっている。西洋医学は検査値に反映できない疾患に対して、対応が難しいことがある。一方、漢方薬は未病や機能障害の状態を正常に戻すことができると考えられている。また、漢方薬は正しく使用すれば副作用が少ないとされている。そのため、医療現場において西洋医学の代替・補完の役割を果たす漢方薬は不可欠である。本講義では、漢方の歴史をはじめ、漢方薬の特徴、陰陽・五行学説の意義、臓腑学説、気血水論、病因論、望・聞・問・切の診断方法などについての解説を行う。学んだ内容を充分理解させるために毎回講義後にレポートを課して講義する。	
薬学専門科目	医療薬学	漢方薬学	漢方薬の調剤および指導が適正にできる薬剤師を育成するために、 生薬の効能および方剤の組み合わせの原則を講義する。本講義で は、主な方剤群である桂枝湯類、柴胡剤類、麻黄剤、附子剤、地黄 剤、参耆剤および滋陰剤などについて解説する。また、消化器、循環 器、呼吸器、代謝・内分泌、腎・泌尿器、血液、産婦人科、皮膚科、高 齢者、冷え症、虚弱体質などの治療を例に挙げながら具体的な臨床 応用についての解説も行う。さらに、漢方薬の使用上の注意点につい ても講義する。	
		放射線検査医学総論	放射線や放射線・非放射線検査技術に関連する知識を総合的に学ぶことを目的とする。電離放射線(放射線)と非電離放射線(非放射線)の性質や物質(生体)との相互作用の違いを解説し、電離放射線を防御する方法(被ばく管理)について講義する。また、放射線の物理的基礎に加え、医療分野への応用(X線検査、CT検査、RI検査、超音波検査、MRI検査等)について個別に解説する。また各分野における最新の情報や知見、医療施設で実際に行われている放射線・非放射線検査について分かりやすく講義する。(オムニバス方式/全15回)(35 片渕哲朗/2回)代表的な放射性核種と生体との相互作用を学修する。また、医療施設で実際に行われている核医学検査(頭部、心臓、骨など)について講義する。(41 丹羽政美/2回)非放射線(磁場)の生体への影響について学修する。また、医療施設で実際に行われているMRI検査(頭部、甲状腺、乳腺、血管など)について講義する。(44 楳田雄大/4回)医療施設で実際に行われているX線造影検査(消化管、頭部・心臓・腹部血管など)やX線CT検査(頭部、胸部、腹部など)について講義する。(46 下郷智弘/1回)放射線の種類、放射線の生体への影響を学修する。また、放射線を防御する方法を講義する。(47 西出徐/2回) 北放射線(紫外線、赤外線、青波、超音波など)の生体への影響について学修する。また、医療施設で実際に行われている超音波検査(甲状腺、乳腺、腹部など)について講義する。(52 山内浩司/2回)放射線の物理的基礎、放射線の測定方法について講義する。(54 石井美枝/2回)医療施設で実際に行われている一般X線撮影検査(胸部、腹部、骨など)について講義する。	オムニバス方式

(薬学	:部薬学科)	授業	科	I	の	概	要	
(**)	科目区分	授業科目の名称			講義等の	內容		備考
		臨床検査医学総論	等も含まれる。そのたでは各種協義する。 最初に基準 種臨床検済	、病態の変化 めには、臨床 塩床検査項目 単値とは何かっ を で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	とと臨床検査に 検査について基準 について基準 を解説して、 を意義や基準 、検査値は	値の関連性での知識が 性値から病態 その上で診療 範囲、検査 気態以外の要	り他に患者説明業務 も知識として要求され 重要となり、この科 息との関連性までを請 まで用いられている各 法および臨床的意義 医因でも変化し、試料 し、これら変動要因に	
		病態情報解析学	る。臨床検 て、生体の いればある ら離れた分 の少ないも (Reversed 臨床検査と	を 査は、生体 が状態を科学 の一定の範囲 が析結果として 大況で、臨床 Clinico-Path	たは生体か 的に検出する の値(正常値 で表れる。この 検査値をもと ological Cont ついて学び、	ら排泄・採取 の手法であり)に保たれ、 講義では、 に症値のの病 ference) 視点 検査結果か	の範囲で保たれてい された検体を分析し、 に常性が保たれて 破綻すれば、正常か 臨床症状などの情報 態を推定するRCPC で講義する。各種の いら抽出した情報を統 する。	講義 16時間 演習 14時間
薬学専門科目	医療薬学	処方解析演習	な患が必及 だい は かい	で記述を を を を を を を で で で で で で で で で で で で で	ある。確定 ある。では あの正の目 の一の目目神・性が に、精神・性が は、物・するとが がすおおいるのでが がするといい。 がするといい。 がずからいい。 ががない。 ががない。 ががない。 ががない。 ががない。 がいました。 を中心にいる。 がいまた。 を中心にいる。 がいまた。 を中心にいる。 がいまた。 を中心にいる。 を一心にいる。 を一心にい。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にいる。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一心にし。 を一。 を一。 を一。 を一。 を	者への適格をある。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 をがしる。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしる。 をがしている。 をがしな。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしな。	族患・消化器系疾 行う。 血器疾患、免疫系疾	オムニバス方式
		香粧品学	り、日常使 が重要な役 薬事法、化 防、スキン	われているた と割を持ってい ど粧品の種類	め、その安全 いる。香粧品 などについて いて解説し、	性と有効性の 学では、化粉 講義する。 特 香粧品による	目的として持ってお の確保には、薬剤師 品の歴史、化粧品と 特に、美白やしわ予 ら皮膚疾患や被害の る。	
		鍼灸治療論	欠な医療の 身体に鍼を な介入や優 の基礎理論 な疾患の鍼	り手段となって や灸を用いた 建康増進を目 倫である経絡	こいる。伝統治刺激を与える 指す医療技術 学説をはじめ 用について角	台療方法の一 ことで、多様 析である。この 、ツボの確定 異説し、人間	近年においても不可 一つとする鍼灸とは、 な疾病への治療的 り講義では、鍼灸学 た方法および具体的 本来の治癒力を引き	
		創薬化学特論	での過程を解説するな動態学、毒状素、ターれぞれのつ析、プロテ	と解説する。臨 たかでメディン を性学、製剤与 がットバリデー プロセスで行す オミックス解析 ミストリー、バ	a床候補化合 ナルケミストリ 学の果たす役 ーション、リー っれている先 「、ハイスルー	物に必要とる 一、分子生! 割を解説す。 ド化合物の選 端的な創薬! プットスクリー	補化合物ができるままれる特性について 物学、薬理学、薬物 る。更に、薬のシーズ き択と最適化等のそ 支がイグミックス解 ーニング(HTS)、コン いの進歩の状況につ	
		医薬品開発概論	全性を確保 の規制によ セスや医薬 のような職。 品の開発っ について討	まするために、 こり厳格にコン 医品の適正使 種を選択して プロセス(前臨	開発段階の トロールされ 用に関する基 も薬剤師とし 床試験、臨り るとともに、医	みならず市順 ている。 新 本的知識を て重要である に試験、承認 薬品開発や	安定した効果と安 反後においても多数 規医薬品の開発プロ 修得することは、ど 5。本概論では、医薬 申請、市販後調査) 医薬品産業の過	

(薬学	*部薬学科)	授業	科	B	D	概	要	
(*)	科目 区分	授業科目の名称			講義等の)内容		備考
	医療薬学	地域健康サポート演習	必部局宅のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	る。原外では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	医薬品牌をは、 を送の購の規定を を受い、 をでは、 をである。 という。 といる。 という。 といる。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	食しています。というないは、これでは、またで、一、から000とないで、から000とないで、から000とないで、から000とないで、おりが背話した。大きないで、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	学の課題を知ることが メント、化粧品、 大ント、化粧品のると を薬 特に、地粧品のる様、 大の視点で課題が保健題を 中成16年以降、外国 国を、医療児師として、 変別がよりでして、 変別がよりでする。 でいる。 変別がよりでいる。 変別がよりでする。 でいる。 変別がよりでする。 でいる。 での課題を明確に できたする。 できたする。 できたが、 できたが、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい	オムニバス方式・共 同(一部)
薬学		医薬品副作用学	なことであ 薬品が有 たってのE 相互作用:	る。一方、副 する有害作用 回避方法や使 から生じる有	作用の出現は 引(副作用)に 用上の注意点 害作用につい	常に課題と ついて概説し な講義する て、発現機材	ちの薬物使用に必要なる。本講義では、医な、実際の使用にあ。、実際の使用にあ。また、他の薬物との構も含めて解説する。毒についても講義す	
専門科目		早期体験学習	職場であるに、医療もは、医療もさせ、持ずる。これではついて	る病院や薬局 見場等の情報 見学後に、6 続的な学習 により、情報 て学ばせ、学	、企業の現場 収集を行い、 年間で学ぶ内 意欲を持たせ を共有すること	を見学体験職場の特徴 でをどのようるために自らでお互いにせる。 さらに	る目的で、薬剤師の する。見学体験の前 と薬剤師の役割を理 に結実させるかを考 気づいた点を発表 気が付かなかった事 、シミュレーター人形	共同 講義 6時間 演習 12時間 実習 12時間
		救急処置法	の一次救金な呼吸・循係、熱傷、	命処置及び原 環の病態生 骨折、中毒、	に急手当をいう 理とともに実際)。ここでは- 袋の処置法を く、減圧症、高	、隊員に引き継ぐまで ・次救命処置に必要 講義する。また創 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	薬学 臨床	フィジカルアセスメント論	収義にしたいいの 機関 では できます できます できまます (8 関 できままず (8 関 できままま) できます できます (2 呼 できます (3 の できます できます (4 できます できます できます できます できます できます でき できます できます	上で、養工のでは、 で、養薬では、 で、養薬では、 で、養薬では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	態を正しく評価 具体的には、対 法を提案・実 できるようにで 同回) イタルサインを の内容を講義 のフィジカルア・ イジカルアセス	fi(フィジカル 適切な医薬」 値・評価でき り観察・測定 する。 とらえて、薬 する。 セスメントに メントについ アセスメント	適切に患者情報を アセスメント)する意 品情報を基に、個々 るよう講義する。代表 と評価で得られた情 剤師として必要な ついて講義する。 こで概説し、その意義 こついて講義する。	オムニバス方式

(薬学	⇒部薬学科)	授	業	科	目	D	概	要		
(発子	科目区分	授業科目0)名称			講義等0)内容		備考	
薬学専門	薬学臨	フィジカルアセン	スメント演習	施・例管務を出り、(2年)、(30 智の)を持つ、29には、30 智ののででである。(30 では、19には、19には、19には、19には、19には、19には、19には、19に	(29 梅村雅之) 主に模擬患者(シミュレーター)の身体所見の演習の取りまとめを行う。 (30 重山昌人) 演習の進め方を説明して、討議の取りまとめ等を行い、総括・監督す					
.科目	床	チーム医療	漢演習	はめに 東間 で に で に を は が に 半 り に を と 射 よ ら さ は の は の に の は の は の は の の の は の の の は の の の は の の の に の の の の の の の の の の の の の	ある。 特に、他 自らの序検学と 時間を 際に 神日を履修等は 神日を履修等が は が は い が は い た い た り に の に の に 検 学 修 手 の 度 修 学 修 得 の 度 修 等 に 者 の 度 修 等 に 者 の 度 で 表 う て 、 方 る 、 方 る う 、 方 、 う 、 う 、 う 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	型の職種との知識種との知識種をの知識を知識を知識を知識を知識を知識を知識を見ることの、	ミュニケーン る必要科、デスト ・	・ション能力の向上コン能力を伸ばすた。本学の特性を生た。本学の特性を生た。を学りますに科目をかいてチーム医療で必また検査技師、診療の実際を解説する。 「一般を表現を発展して、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	オムニバス方式・共 同(一部) 集中	

		授	業	科	目	0	概	要	
(薬学	部薬学科) 科目 区分	授業科目の)名称			講義等の)内容		備考
薬学専門科目	薬学臨床	実務実習プレ	教育Ⅰ	態と(2)適を(3)に薬き(4)すに良(5)積プも向 (2)医う(3)処(3)臨達行((患の知(3)患へな(3)安)が現を(3)に得薬適情能チ患が医地的インに ム梅品 電設谷実標 西・画の知(3)まの知(3)生の知(3)を(3)と、おりのでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	践尊は行る療にを修な中多の質ケらわ、ス稚共、昌と売のひ、英者ぞ母公の、多年な稚山、ちのは、おいまない。 はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はい	東流流 東流流 東流 東流 東流 東流 東流 東流 東、 大変 東、 大変 東、 大変 東、 大変 東、 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	躍すん給 最、た 見いするよこなの療法との という いき 物に法 ですることで 本を療 域画ととう域を組住 と 薬 制の では、 本を療 ですることでなる。 本理 薬を療 域画ととう はてんば と 薬 ・	保健・医療・福祉に、地域保健、福祉に、地域保健、福祉に、意義を理解するとと健康の回復、維持、的な知識の修得を行う。 対立、としたのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	オムニバス方式・共
		実務実習プレ	教育Ⅱ	に(2)め合いでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	う、必要な大きな、 ・ 一次では、 ・ 一、 ・ 一 一 一 では、 ・ 一	a識・技能・態度 いては利を実した。 はて調がいています。 はでは、 はでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	度の教正との教正という。 での教正という。 では、現剤にこ、調剤についるに対している。 はな対象ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	実務実習にスムーズでう。 調剤が円滑にできる 監査、薬剤の秤取・ いての技能修得を中 か鑑査を行うための たロールプレイによ 能・態度及びコミュニ チの正しい取扱いと 用粉末の溶解・分 注射薬混合調剤が 調剤を実施する前に 度を身につける。ま 模擬患者等による	
		薬局実務	実習	躍するため 画に必要が 研業を管理 在宅医療・ 啓発活動)	りに、薬物療な基本的事で 流れを理解し 里、安全管理 や介護への	法の実践とチ、 頂について実習 、調剤や製剤 などを学ぶ。 参画、地域保 局におけるプラ	ーム医療・地 習する。薬局 」、患者対応、 また、地域に 建(公衆衛生	薬局の臨床現場で活 域保健医療への参 の位置づけや薬剤 服薬指導、医薬品 おけるチーム医療、 、学校薬剤師、地域 セルフケディケーショ	

(薬学	学部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
(XC)	科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		病院実務実習	患者や生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院の臨躍するために、薬物療法の実践とチーム医療・地域保健医画に必要な基本的事項ついて実習する。病院における薬置づけや業務の流れを理解し、チーム医療に参画できる。製剤、患者対応、服薬指導、医薬品供給と管理、安全管理で学ぶ。また、患者情報や医薬品情報の収集と活用、処力物療法の実践、医師や看護師等の医療スタッフとの連携に実習で学ぶ。	ミ療への参 剤部門の位 大き 動物や まなどつい ず設計と薬
薬学専門科目	薬学臨床	臨床薬学演習	実務実習プレ教育 IとII、薬局実務実習や病院実務実習た。科目別や項目別に理解してきた内容を複合的に理解するために、各臨床教員の立場からそれ分野にある課題を提示して、SGDで議論する。 (オムニバス方式/全8回) (29 梅村雅之/1回) 社会で活躍する薬剤師として、薬物投与の適正速度と主任用について演習する。 (30 重山昌人/2回) 社会で活躍する薬剤師として、病院で治療を受けている間について解説する。特に高齢者は寝たきり状態の患者が発症するケースが多い。その為、褥瘡のケアについて最近をもとに解説して、実際の使用にあたっての注意点を演習に、病院薬剤部において、医師から依頼を受け製品化され製剤の新規製剤設計についても演習する。 (③ 谷澤克弥/1回) 社会で活躍する薬剤師として、病院薬剤師が関わる患者が表とその利活用について理解し、最新の地域医療情報ムとの関連を演習する。 (④ 西村英尚/1回) 社会で活躍する薬剤師として、糖尿病治療薬を例に、服務注意点や服薬指導内容などについて解説し、患者への利力いて演習する。 (33 安田公夫/1回) 社会で活躍する薬剤師として、病院薬剤師と保険薬局薬が重携をしている実態と理想像、将来像について演習する。 (34 仲山午佳/1回) 近年のOTC薬とセルフメディケーションの将来性について(29 梅村雅之・30 重山昌人・③ 谷澤克弥・④ 西村英尚・夫・34 仲山千佳/1回) (共同)課題抽出、発表の取りまとめ等のコーディネートを行う。	し、それぞ 臨床の科目 ぞれの専門 作用、副作 同に陥る疾患 多く、褥瘡を の使用例 する。さらいていない オムニバス方式・共 青報の収集 連携システ 医指導上の 溢と課題に 乳師が薬薬 講義する。
		在宅·地域医療薬学演習	高齢化が急速に進行している現代において、地域医療のます重要となっている。在宅・地域医療薬学では、在宅・地できる薬剤師をめざし、臨床の現場で看護師等の医療スタレて活躍できるように、実際に起こり得る状況を想定して5・スタディにより講義する。1回目は課題として与えられたケーから、薬剤師として関与が考えれる具体的な対応・対策にルーブ単位で考えをまとめ、2回目はSGDで議論して、3Fで発表形式により討論する。また、在宅・地域医療の地元県の現場で起こっている実際について看護の視点で解説師が薬剤師に望む医療と薬の関わり方についても討論す	性域に貢献 マッフと協働 つのケース ーススタディ ついてグ 共同 可目に全体 である岐阜 して、看護
		災害薬学	災害薬学では、災害時(地震、水害、テロなど)や救急医療がどのように関わることができるかを概説する。災害時に自関や薬局が災害を受けた場合の対応と、被災地への救護場合の活動内容について講義する。医療チームの一員を場合の準備、心構えなどについても解説する。また、地会や都道府県との連携などについても解説する。さらに、利師の救護活動について医療救護所、避難所、医薬品集時の救護活動に関する注意事項、トリアージなどについて(オムニバス方式/全8回)(81 林秀樹/5回)薬剤師として救護活動を行う場合や、自らの医療機関やすした場合について講義する。(84 三谷智子/3回)災害時の救護活動に関する注意事項やトリアージの考えば仕方を事例を交えて講義する。	らの医療機 活動を行う して活動す 或の薬剤師 災害時の薬 長積所、災害 解説する。 本ムニバス方式 医局が被災

(薬学	:部薬学科)	授	業	科	目	D	概	要	
(X.)	科目区分	授業科目の	授業科目の名称			講義等0)内容		備考
薬学専門科目	薬学臨床	総合薬学特	s論 I	薬に知う情 (1医どる体(2生し(4中と経()医理()感患()生用用(1疾のの()薬で物・基識で報 ム宇療・分科伊薬 最金 枢の障①薬論()染治の体さと11患の知(9剤)、治療・企業に 二野現改析・藤学新子維制に非を用単にに下子を関原関いに代とは落まった。 これの はいい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	のて認をる。スニでで学、朗び天子茶はつ泰含い削おお変や変更をうる分の大いので認をある。スニでで学、朗び天子茶はつ泰含い削おお変や変更をする方が、一切、大いでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	いたれたがには、 新になか合的には、 新にがなからいた。 が終れていたが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	の来に思想を必然である。 できない 大きに 関と という という という という という という という という という とい	をと薬物の作用機序 用薬の作用機序や神 なが物理化学の基礎 は能の異常と疾患、疾	オムニバス方式
		総合薬学料	≇論 Ⅱ	食に認たらをる(9我対境を(1超す会(2)病)力(5後、14年)を表し、一次の(3)が策管関で、一次の(1時を)を表し、一次の(1年)を表し、一次の(1年)を表し、一次の(1年)を表し、一次の(1年)に (1年)を表し、一次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「次の(1年)に (1年)を表し、「の(1年)に (1年)に (1年)といる。	と	理解し、地域を開いて、 東京 中央 では、 地域を 報いたのに 回り を 体で は、 地域を 報いたのに 回り を 体で を で がいたのに 回り を がいたのに 回り を がいまり で がいまり で かいて ・	社会で活用の りまくないで満年やい につまるといて講演法、 につ報を対する。 につ報を対する。 につ報を対する。 につ報を対する。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	、薬事関係法規やできるために情報を表して、 できるために情報を確めする。これらの講義即自分に補うできる情報にする。これものできる情報にする。これものできる情報にするときるという。 ある生活習慣病予環といてその役割を果たする法律の知識、社でもの役割を果たする法律の知識、社でものといて講義する。 かを正しく処分する能のいて、 かを正しく使用する食	オムニバス方式

(薬学	学部薬学科)	授	業	科	目	Ø	概	要			
(Ж.)	科目区分	授業科目の	授業科目の名称			講義等の内容					
薬学専門科目	薬学臨床	総合薬学料	养論Ⅲ	物つるや野べ報 (3気作(免て()効得よ(8末なす(1薬や(3呼が日)の)番別がいう知にきに	を脱義、ても、ス樹島い子族食泰菓、よぼびい、孝学を鳥化がいたな療・時間している。 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	最合の現がた、回性の最も、大道製合の根がた、では、中性が変化を対している。というでは、大きな、大道製合の根がた、では、大きな、大道製合の根がた。というでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	台語の大学を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	に関する知識の習 ト、調製法、特性、お まや臨床試験に必要 ために実践的に講義 御による作用の向上 がん・胃がん・大腸 的薬及びPD1・ との関連、予防方 いた関わりかたを実 患について最新の	オムニバス方式		
		総合薬学特	∳論Ⅳ	療になすい理(イ)の表別のあがるて解し、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	か見らになるという。 おいま では いいりょう はいいりょう はいいりょう はいいりょう はいいりょう はいいりょう はいいりょう はいいしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	習のように、	課題を問題要う言語を表す。 一次の利益を関連を対がして、内を対して、内を対して、内を解析を対して、内を解析を対して、内を解析を表す、、大変を対して、内の利益を対して、内の利益を対して、内利益を対して、内利益を対して、内利益を対して、大変対して、大変対して、大変対して、対象が対して、対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	だ代表的な薬物治点を明確にし、地域か最新の事例を示し、地域か最新の事例を示していても概説 薬学臨床分野につなを学び、総合的に 種類や成り立ちと使用 患者等のできるよう 受ける患者のができるよう 受ける患者なができるよう たな考え方や取り組 生宅医療などの様々	オムニバス方式		

(薬学	*部薬学科)	授業	科 目 の 概 要	
	科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
薬学専門科目	薬学臨床	総合薬学特論V	服薬業務の現場では、基礎準備科目、薬学基本科目、薬学基礎科目、専門科目の全ての分野を総合的に理解し、その知識を医療の現場に反映する能力が必要である。特に、薬学基礎と物のの科目、薬学基礎(物理)の科目、薬学基礎(化学)の科目、薬学基礎(生物)の科目、東門科目の衛生薬学の科目、医療薬学の科目、薬学臨床の科目から、地域で活躍する薬剤師として生涯教育に重要と思われる最新の知見をオムニバス方式で講義し、薬学基礎科目から専門科目で学んだ知識を総合的につなげで確実な知識とし、臨床現場で応用できる内容を学ぶ。(オムニバス方式/全15回)(1字野文二/1回)分析化学の知識を基礎に、オミクスに用いられる最新分析技術を講義する。(2伊藤哲朗/1回)生薬学、天然物薬品化学の知識を基礎に、近年の天然物をシーズとした医薬・この状素、開発、および臨床応用の動向について講義する。(3稲垣直樹/1回)薬理学の知識を基礎に、近年の新薬の開発状況について講義する。(4金子業子/1回)近年開発が進む免疫疾患の治療ツールについて、その臨床応用と治療方法について講義する。(① 笹井泰志/1回)物理化学を基盤とする医薬品設計、薬物治療、および診断技術の最新の知見を講義する。(② 杉山剛志/1回)物理化学を基盤とする医薬品設計、薬物治療、および診断技術の最新の知免情議等する。(② 杉山剛志/1回)物理化学を基礎として、近年の感染症について講義する。(10 町下後明/1回)物理の知識を基礎として、近年の感染症について講義する。(11 松原守/1回)生活習慣病予防について、最新の動向と予防対策について講義する。(11 松原守/1回)型・新のなのに用いられる理論および有機合成法について最新の事例やトピックスを示しながら講義する。(11 極原守/1回)型・大きなのに、表新の知見を講義する。(17 演武通子/1回)地域で活躍する薬剤師として、麻薬や向精神薬のような特別な配慮が必要な医薬品について、法制度や社会制度の近年の動向について実践的な視点で講義する。(30 重山星人/1回)別がよの薬物治療とその治療効果について講義する。(30 重山星人/1回)別がよの薬物治療とその治療効果について講義する。(30 重山星人/1回)別がよの薬物治療とその治療効果について講義する。(30 番売売が1回)副作用の重篤度を理解し、代表的な副作用の発生機序と観察のポイント・ア防方法を講義する。(40 西村英尚/1回)糖尿病疾患の最新の治療法と患者QOLの維持の方法について講義する。(40 西村英尚/1回)糖尿病疾患の最新の治療法と患者QOLの維持の方法について講義する。(40 西村英尚/1回)糖尿病疾患の最新の治療法と患者QOLの維持の方法について講義する。(40 西村英尚/1回)糖尿病疾患の最新の治療法と患者QOLの維持の方法について講義する。(40 西村英尚/1回)糖尿病疾患の最新の治療法と患者QOLの維持の方法について講義する。(40 西村英島)知识など、20 年間に関連する。20 日間に対しては、20 年間に関連する。20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連など、20 年間に関連などの発見に対しては、20 年間に関連などのは、20 年間に関連などの対域が、20 年間に関連などのが、20 年間に関連などのは、20 年間に対域が、20 年間に対域が、20 年間に関連などのは、20 年間に対域が、20 年	オムニバス方式
	薬学	特別研究 I	薬学に限らず、生命科学および医療の分野は常に進歩し、より良い医療を遂行するための改善が進められている。医療およびその関連学問が正しく進歩し、また改善がなされていくためには、正しく遂行された研究結果を客観的に評価し、それによって導かれた科学的根拠に基づいていることが必須である。特別研究では1~IIIの3年間を通して実際の薬学研究を体験し、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身に付けるとともに研究マインドを持って医療に貢献する資質を醸成する。。また、研究を推進するにあたり、英語論文講読を行いグローバルな情報を得ることで、最先端の研究内容と方法論を学ぶ。特別研究にはまず、薬学研究の位置づけを理解し、研究に必要な倫理、法令等を学ぶ。さらに、研究課題を設定して、その課題についての研究背景の調査、研究計画の立案を行い、実際に研究に着手する。	
	字研究	特別研究Ⅱ	薬学に限らず、生命科学および医療の分野は常に進歩し、より良い医療を遂行するための改善が進められている。医療およびその関連学問が正しく進歩し、また改善がなされていくためには、正しく遂行された研究結果を客観的に評価し、それによって導かれた科学的根拠に基づいていることが必須である。特別研究では1~IIIの3年間を通して実際の薬学研究を体験し、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身に付けるとともに研究マインドを持って医療に貢献する資質を醸成する。。また、研究を推進するにあたり、弄語論文講読を行いグロテバルな情報を得ることで、最先端の研究内容と方法論を学ぶ。特別研究IIでは、法令等を遵守し、倫理観を持って行う実際の研究を行う。その研究活動を通して、関連研究の最新の動向調査を行い、研究の問題点の見直し、計画や手法の改善等の検討を行う。さらに、研究報告に向けて必要な結果および情報の収集を行う。	

様式第2号(その3)

(薬学	=部薬学科)	授	業	科	目	D	概	要		
科目区分		授業科目の		講義等の内容						
薬学専門科目	薬学研究	特別研究	療を遂行で遂行にない。 基本の という という という はい まい まい まい まい まい かい まい かい	薬学に限らず、生命科学および医療の分野は常に進歩し、より良い医療を遂行するための改善が進められている。医療およびその関連学問が正しく進歩し、また改善がなされていくためには、正しく遂行された研究結果を客観的に評価し、それによって導かれた科学的根拠に基づいていることが必須である。特別研究では1~IIIの3年間を通して実際の薬学研究を体験し、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身に付けるとともに研究マインドを持って医療に貢献する資質を酸成する。また、研究を推進するにあたり、英語論文講読を行いグローバルな情報を得ることで、最先端の研究内容と方法論を学ぶ。特別研究IIIでは、研究の進捗を正しく評価し、さらに必要な結果や情報を収集する。得られた研究結果について、客観的かつ論理的な解釈を行う。口頭による研究発表と質疑応答を行い、その後研究論文の作成を行う。						

学校法人神野学園 設置認可等に関わる組織の移行表

平成 31 年度					平成 32 年度					
	入学	編入学	収容			入学	編入学	収容	変更の理由	
	定員	定員	定員			定員	定員	定員		
岐阜医療科学					岐阜医療科学					
大学					大学					
保健科学部					保健科学部					
臨床検査学科	90	_	360		臨床検査学科	90	_	360		
放射線技術学科	90	_	360		放射線技術学科	90	_	360		
看護学部					看護学部					
看護学科	100	_	400		看護学科	100	_	400		
					<u>薬学部</u>				学部の設置(認可申	
					薬学科	<u>100</u>	_	<u>600</u>	請)	
<合計>	280	_	1,120		<合計>	<u>380</u>	_	<u>1,720</u>		
助産学専攻科	20	_	20		助産学専攻科	20	_	20		
岐阜医療科学					岐阜医療科学					
大学					大学					
大学院					大学院					
保健医療学					保健医療学					
研究科					研究科					
保健医療学専攻	9	-	18		保健医療学専攻	9	-	18		
中日本自動車					中日本自動車					
短期大学					短期大学					
自動車工学科	200	_	400		自動車工学科	200	_	400		
モータースホ゜ーツ					モータースホ゜ーツ					
エンシ゛ニアリンク゛学科	30	_	90		エンシ゛ニアリンク゛学科	30	_	90		
計	230	_	490		計	230	_	490		
1 級自動車整備					1 級自動車整備					
専攻科	20	_	60		専攻科	20	_	60		
車体整備専攻科	40	_	40		車体整備専攻科	40	_	40		
留学生別科	50	_	50		留学生別科	50		50		
中日本航空					中日本航空					
専門学校					専門学校					
航空整備科	193	_	579		航空整備科	188	_	564	定員変更(△5)	
航空生産科	80	_	240		航空生産科	40	_	120	定員変更(△40)	
エアポート					エアポート					
サービス科	100	_	200		サービス科	100	_	200		
計	373		1,019		計	328		884		